6月21日（金） A会場（センター 1F 大会場）［展示ホールB］

受賞報告会

8:30～9:30

プレゼンター：九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野　神庭 重信

1. 精神医学奨励賞

司会：群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学　福田 正人

名古屋大学高等研究院・大学院医学系研究科　久島 周

2. 国際学会発表賞

司会：奈良県立医科大学医学部精神科　岸本 年史

・個人発表部門

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所　久保田 学
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室　黒川 駿哉
昭和大学発達障害医療研究所　藤野 純也
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室　藤本 岳
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室　吉田 和生

・シンポジウム組織発表部門

三重県立こころの医療センター、奈良県立医科大学精神医学教室　長 徹二

3. フォリア賞

司会：慶應義塾大学精神神経科学教室　三村 將

桶狭間病院藤田こころケアセンター　宮田 明美
名古屋大学医学部附属病院精神科　岩本 邦弘

4. PCN Reviewer Awards

司会：慶應義塾大学精神神経科学教室　三村 將

関西医科大学精神神経科学教室　池田 俊一郎
市立芦屋病院緩和ケア内科　石井 良平
駅前メンタルクリニック　岩脇 淳
名古屋大学医学部附属病院精神科　山内 彩
順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学　馬場 元
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科　松尾 幸治
東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻精神保健学分野　西 大輔

9:40～11:40 シンポジウム 33

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

ポジティブ精神医学の産業メンタルヘルスへの活用

司会：**大野 裕**　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
三村 將　慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S33-1 **ポジティブ精神医学的視点が企業や地域にもたらすもの**
○佐久間 啓
社会医療法人あさかホスピタル

S33-2 **ポジティブ精神医学を活用した産業界におけるメンタルヘルス向上**
○須賀 英道
龍谷大学短期大学部

S33-3 **職場における対人関係からみたポジティブ視点**
○岡 敬
特定医療法人十全会十全病院精神科

S33-4 **企業におけるメンタルヘルスプロモーションの現状と健康経営におけるポジティブメンタルヘルス**
○奥山 真司[1,2]
[1]トヨタ自動車株式会社人事部、[2]TRI-AD

〈コーディネーター〉 佐久間 啓　社会医療法人あさかホスピタル
須賀 英道　龍谷大学短期大学部

11:50～13:50 シンポジウム 42

ASD と ADHD の臨床的特徴と鑑別診断

司会：**岩波 明**　昭和大学医学部精神医学講座
柏 淳　ハートクリニック横浜

S42-1 **小児期の ASD と ADHD の臨床的特徴と鑑別診断**
○横山 富士男
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S42-2 **ASD と ADHD の生物学的指標と鑑別診断**
○岩波 明
昭和大学医学部精神医学講座

S42-3 **ASD と ADHD：併存を再考する**
○柏 淳
医療法人社団ハートクリニックハートクリニック横浜診療部

S42-4 **ASD・ADHD を予測する特徴はなにか？それはいつ観察されるか？**
○土屋 賢治[1,3]、高貝 就[2,3]
[1]浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、[2]浜松医科大学児童青年期精神医学講座、
[3]大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科

〈コーディネーター〉 岩波 明　昭和大学医学部精神医学講座

14:10〜16:10 会長企画シンポジウム２
統合失調症患者の生命と健康を守るための新たなる視点

司会：**染矢 俊幸**　新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
松田 ひろし　医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院

PS2-1　**統合失調症患者の低体重リスクについて**
○須貝 拓朗
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

PS2-2　**統合失調症の罹患者における糖脂質代謝異常の予防にむけて**
○菅原 典夫
獨協医科大学精神神経医学講座

PS2-3　**チーム医療で取り組む身体合併症対策と予防：栄養士の立場から**
○井戸 由美子
大阪梅花大学

PS2-4　**新潟大学における抗精神病薬使用にともなう身体的副作用研究の歩み**
○鈴木 雄太郎
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

〈コーディネーター〉 染矢 俊幸　新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
須貝 拓朗　新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

16:20〜18:20 シンポジウム51
日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション
昨今の産業衛生のトピックスとメンタルヘルス的視点

司会：**工藤 喬**　大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
渡辺 洋一郎　横山・渡辺クリニック

S51-1　**「働き方改革」における精神科産業医の役割と課題**
○小山 文彦
東邦大学医療センター佐倉病院産業精神保健・職場復帰支援センター

S51-2　**健康経営に関する精神科医の役割**
○田中 克俊
北里大学大学院医療系研究科医学専攻産業精神保健学

S51-3　**「障害者就労」における精神科産業医の役割と課題**
○神山 昭男
医療法人社団桜メデイスン有楽町桜クリニック

S51-4　**「労災医療」における主治医と精神科産業医の役割と課題**
○黒木 宣夫[1,2]、桂川 修一[2]
[1]勝田台メディカルクリニック、[2]東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

〈コーディネーター〉 工藤 喬　大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科

6月21日（金） B会場（センター 1F 中会場）［展示ホールA-1］

8:30～9:30 一般演題（口演）26
依存・行動嗜癖 1

司会：**樋口 進** 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-026-1 **発達障害の視点より治療し、著効を奏した初診“依存症”者 77 名の治療経験**
○大塚 明彦、森本 志保
大塚クリニック

2-026-2 **がんサバイバー患者のオピオイド鎮痛薬依存問題**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

2-026-3 **やめさせようとしない依存症治療の提案**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

2-026-4 **物質使用障害患者における通院中断への影響因 –初診 3 年後の通院継続状況から–**
○板橋 登子、小林 桜児、黒澤 文貴、福生 泰久、吉松 尚彦、西村 康平
神奈川県立精神医療センター

2-026-5 **抗精神病薬にて精神病症状が改善しなかった覚醒剤精神病にてメマンチンが奏功した一例**
○大野 友梨香、稲田 健、河野 敬明、堤 多可弘、林 安奈、安楽 勇太、山元 健太郎、西村 勝治
東京女子医科大学病院神経精神科

9:30～10:30 一般演題（口演）39
薬物療法 1

司会：**稲田 俊也** 名古屋大学大学院医学系研究科精神生物学分野

2-039-1 **2 型糖尿病を合併した治療抵抗性統合失調症にクロザピンを用いた 1 例**
○湯川 尊行[1]、小原 伸雅[2]、新藤 雅延[1,3]、井上 絵美子[1]、有波 浩[1,4]、恩田 啓伍[1]、渡部 雄一郎[1,4]、染矢 俊幸[4]
[1]魚沼基幹病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター内分泌・代謝内科、
[3]新潟市民病院精神科、[4]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-039-2 **クロザピン血中濃度が 1000ng/ml 以上の高値を示した治療抵抗性統合失調症の症例群の検討**
○木田 直也[1]、村上 優[2]、大鶴 卓[1]、久保 彩子[1]、吉田 和史[1]、石橋 孝勇[1]、中原 辰雄[3]、橋本 喜次郎[3]
[1]国立病院機構琉球病院精神科、[2]独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、
[3]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

2-039-3 **慢性疼痛にデュロキセチンを処方され躁転した双極性障害の 1 例**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

2-039-4 **炭酸リチウム投与後、コミュニケーションおよび行動の柔軟性の改善を認めた自閉スペクトラム症の 1 例**
○菊地 佑、角田 智哉、横山 昇
福島県立矢吹病院精神科

2-039-5 **ADHD に対してグアンファシンを用いた薬物療法の臨床経験**

○山崎 知克[1]、中泉 享子[1,2]、岩城 貴美枝[1,2,3]、杉山 登志郎[1,2,4]
[1]浜松市子どものこころの診療所精神科、[2]浜松医科大学医学部附属病院精神神経科、[3]医療法人好生会三方原病院、[4]福井大学医学部附属病院

10:40～12:40 シンポジウム 34
あなたにもできる神経化学研究

司会：**工藤 喬**　大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
岸本 年史　奈良県立医科大学精神医療センター

S34-1 **幹細胞と遺伝子改変霊長類技術を用いた精神・神経疾患研究**

○岡野 栄之
慶應義塾大学医学部

S34-2 **ゲノム編集技術の基本原理と医学研究での可能性**

○山本 卓
広島大学

S34-3 **希少難病治療に向けた神経化学的アプローチ**

○今泉 和則
広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子細胞情報学

S34-4 **中枢神経由来 EVs の精神神経疾患研究への応用**

○工藤 喬
大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科

〈コーディネーター〉 工藤 喬　大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科

13:50～15:50 シンポジウム 43
精神医学における価値の諸相

司会：**村井 俊哉**　京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

S43-1 **医療実践における価値負荷性**

○植野 仙経
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室

S43-2 **精神疾患概念における生物学的価値と社会的価値**

○榊原 英輔
東京大学医学部附属病院精神神経科

S43-3 **精神医学における医学的問題と社会的問題の線引き**

○鈴木 貴之
東京大学大学院総合文化研究科

S43-4 **価値中立的な「心の健康」の定義は可能か？ −メンタルヘルス基礎論の観点から**

○田所 重紀
室蘭工業大学保健管理センター

S43-5 **精神疾患と価値の相対的普遍性**

○信原 幸弘
東京大学大学院総合文化研究科

〈コーディネーター〉 榊原 英輔　　東京大学医学部附属病院精神神経科

6月21日（金） C会場（センター 1F 中会場）［展示ホールA-2］

8:30〜9:30 一般演題（口演）27
依存・行動嗜癖 2

司会：**惠紙 英昭** 久留米大学医療センター 先進漢方治療センター

2-027-1 **依存症入院患者の知的機能と退院後治療経過 –知能検査と退院後の自助グループ参加、断酒断薬継続との関連**
○板橋 登子、小林 桜児、黒澤 文貴、福生 泰久、吉松 尚彦、西村 康平
神奈川県立精神医療センター

2-027-2 **依存症専門外来における若年向精神薬使用障害患者の臨床的特徴**
○西村 康平、板橋 登子、福生 泰久、吉松 尚彦、黒澤 文貴、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

2-027-3 **反復する自傷行為に対し嗜癖の観点からの治療介入が有効であった 1 例**
○福田 周一、河合 徹郎、松本 健二、塩田 勝利、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学精神医学教室

2-027-4 **スマートドラッグ問題が示すこと〜これからの薬物問題の行方について〜**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

2-027-5 **慢性疼痛患者のオピオイド鎮痛薬依存問題**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

9:30〜10:30 一般演題（口演）40
薬物療法 2

司会：**紫藤 昌彦** 紫藤クリニック

2-040-1 **ベンゾジアゼピン系睡眠薬の適正化に向けた取り組み〜病棟消灯時刻の変更と薬剤師のかかわり〜**
○飯塚 大祐[1]、松田 公子[1]、加瀬 浩二[1]、原 広一郎[2,3]、儘田 孝[2,3]、浅井 禎之[2,3]
[1]医療法人静和会浅井病院薬剤部、[2]医療法人静和会浅井病院精神科、[3]浅井病院研究所

2-040-2 **NDB オープンデータを活用した我が国における高齢者に対する抗うつ薬の使用実態**
○菊地 信示郎、吉村 健佑
千葉大学医学部付属病院

2-040-3 **Mianserin から Mirtazapine への置換中にセロトニン症候群が生じた一例**
○黒鳥 偉作[1]、橋本 直樹[1]、石川 修平[2]、成田 尚[1]、久住 一郎[1]
[1]北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、[2]北海道大学病院薬剤部

2-040-4 **緊張病性昏迷を呈した統合失調症の二症例の臨床的検討**
○内野 英幸、渡辺 啓一
医療法人芳州会村井病院精神科

2-040-5 **強迫性障害におけるブレクスピプラゾールの臨床効果**
○西崎 真紀
まきメンタルクリニック

10:40～12:40 日本精神神経学会と日本神経科学学会との連携シンポジウム
精神疾患の新しい理解と支援に寄与する最先端神経科学

司会：**柚崎 通介**　慶應義塾大学生理学教室
笠井 清登　東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

RS-1 **脳の細胞構築に注目して精神疾患の病態を理解する試みについて**
○久保 健一郎
慶應義塾大学医学部解剖学

RS-2 **意欲の神経基盤**
○田中 謙二
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

RS-3 **日常臨床から着想した研究へ適応できる新規手法**
○田宗 秀隆[1,2]
[1]東京大学大学院医学系研究科、[2]東京都立多摩総合医療センター

RS-4 **精神病態シナプスパソロジーの多階層理解**
○林（高木）朗子
群馬大学生体調節研究所・脳病態制御分野

RS-5 **情動・認知学習の神経回路機構の研究から疾患横断的な精神疾患病態を考える**
○疋田 貴俊
大阪大学蛋白質研究所

〈コーディネーター〉 神庭 重信　九州大学
柚崎 通介　慶應義塾大学生理学教室
笠井 清登　東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

13:50～15:50 シンポジウム 44
向精神薬と自動車運転等の注意喚起 –実臨床での課題とエビデンス、そして考えるべきこと–

司会：**松尾 幸治**　埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
中林 哲夫　独立行政法人医薬品医療機器総合機構

S44-1 **向精神薬が自動車運転に及ぼす影響 –自動車運転試験の現状–**
○岩本 邦弘
名古屋大学医学部附属病院精神科

S44-2 **実臨床における向精神薬と自動車運転の課題 –何に着目すればよいか？–**
○松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S44-3 **向精神薬と自動車運転等の注意喚起 –実臨床での課題とエビデンス、そして考えるべきこと–**
○田中 完
日本製鉄株式会社鹿島製鉄所

S44-4 **向精神薬と自動車運転に係る法的課題**
○木ノ元 直樹
木ノ元総合法律事務所

S44-5 **医薬品の自動車運転に及ぼす影響の評価方法と今後に必要なエビデンス**

○中林 哲夫
独）医薬品医療機器総合機構

〈コーディネーター〉 松尾 幸治　埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
中林 哲夫　独立行政法人医薬品医療機器総合機構
岩本 邦弘　名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

16:00〜18:00 委員会シンポジウム 16（司法精神医学委員会）
刑事責任能力鑑定の方法 –裁判員裁判における私の実践

司会：**米田 博**　大阪医科大学神経精神医学教室
黒田 治　東京都立松沢病院

CS16-1 **裁判員裁判を契機とした刑事責任能力鑑定の変化**

○五十嵐 禎人
千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

CS16-2 **裁判員裁判の影響を検証する –精神鑑定の精神医学的価値を損なわないために**

○田口 寿子
神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター

CS16-3 **裁判員裁判制度の功＜罪**

○村松 太郎
慶應義塾大学医学部精神神経科

CS16-4 **裁判員裁判を全ての訴訟関係者に有意義なものにするために**

○吉岡 眞吾
独立行政法人国立病院機構東尾張病院

〈コーディネーター〉 五十嵐 禎人　千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

6月21日（金） D会場（センター 2F 中会場）［メインホールA］

8:30～9:30 一般演題（口演）28
認知症 3

司会：**鈴木 雄太郎** 医療法人敬愛会末広橋病院

2-028-1 **幻覚妄想状態で急性発症し、術後せん妄との鑑別を要した Probable DLB の一例**
○河野 靖世[1,2]、松井 仁美[1,2]、大矢 雅樹[1,2]、長谷川 裕美[1,2]、筒井 卓実[2]、古田 光[1,2]、竹内 崇[1]、車地 暁生[1]
[1]東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、[2]東京都健康長寿医療センター

2-028-2 **著しい拒食および拒薬を呈したレビー小体型認知症にリバスチグミンが著効した 1 例**
○大野 真[1,2]、木村 大樹[1]、尾崎 紀夫[1]
[1]名古屋大学附属病院/名古屋大学医学部精神科、[2]医療法人交正会精治寮病院

2-028-3 **糖尿病を合併しているレビー小体型認知症の幻覚にアセナピンが著効した一例**
○伊佐治 千明[1,2]、松井 仁美[1,2]、橋本 彩[2,3]、大矢 雅樹[1,2]、長谷川 裕美[1,2]、筒井 卓実[1]、古田 光[1,2]
[1]東京都健康長寿医療センター精神科、[2]東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、
[3]東京都保健医療公社豊島病院精神科

2-028-4 **運転免許失効後に交通事故を起こし、同乗家族の運転免許取り消し処分に至ったアルツハイマー型認知症の一例**
○志村 容子、森 康治、鈴木 由希子、松本 拓也、岩瀬 真生、吉山 顕次、池田 学
大阪大学医学部附属病院神経精神科

2-028-5 **認知症病棟入院患者と退院先決定因子についての検討**
○長塚 雄大、川合 秀明、佐藤 諒太郎、岩見 有里子、山田 真理、染村 宏法、長谷川 千種、田中 宏明、常岡 俊昭、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神科

9:35～10:35 教育講演 9

司会：**五十嵐 禎人** 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

EL9 **刑事精神鑑定の基礎**
○岡田 幸之
国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野

10:40～11:40 教育講演 10

司会：**松田 ひろし** 柏崎厚生病院

EL10 **精神医学における生物・心理・社会モデルと多元主義**
○村井 俊哉
京都大学大学院医学研究科精神医学教室

11:45～12:45 教育講演 11

司会：**松本 英夫**　東海大学医学部専門診療学系精神科学

EL11 **児童・思春期精神障害を理解するための３要因 –アタッチメント、虐待、そして発達障害–**

○齊藤 万比古
恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

13:50～14:50 教育講演 12

司会：**伊藤 洋**　東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

EL12 **精神疾患における睡眠障害の治療戦略**

○内山 真
日本大学医学部精神医学系

14:55～15:55 教育講演 13

司会：**松本 晃明**　静岡市こころの健康センター

EL13 **認知行動療法 –過去、現在、未来、その先へ–**

○中川 敦夫
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門

16:00～17:00 教育講演 14

司会：**髙橋 英彦**　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

EL14 **精神・神経疾患の脳内回路と分子の可視化**

○須原 哲也
量子科学技術研究開発機構

17:05～18:05 教育講演 15

司会：**村井 俊哉**　京都大学大学院医学研究科・脳病態生理学講座（精神医学）

EL15 **精神科臨床に役立つ神経心理学の知識**

○三村 將
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

6月21日（金） E会場（センター 2F 中会場）［メインホールB］

8:30～9:30 一般演題（口演）29
依存・行動嗜癖 3

司会：**上野 修一** 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学

2-029-1 **依存症専門外来・病棟で自傷としての瀉血をおこなう 8 症例の臨床的特徴**
○西村 康平、板橋 登子、福生 泰久、吉松 尚彦、黒澤 文貴、森脇 久視、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

2-029-2 **プレイ間隔の不均一性による問題ギャンブリング行動の分析と予測**
○篠崎 元[1]、鈴木 浩子[2]、渡部 勇[2]
[1]University of Iowa Department of Psychiatry、[2]富士通研究所

2-029-3 **精神科救急病棟における物質使用障害への短期介入ツール開発の試み**
○井上 翔、花岡 晋平、増野 幸子、濵地 典夫、廣瀬 祐紀、深見 悟郎、平田 豊明
日下部記念病院精神科

2-029-4 **アルコール依存症の抑止要因としての広場恐怖・パニック障害：非活性型 2 型アルデヒド脱水素酵素に注目して**
○伊藤 満、米本 朋子、上野 文彦、湯本 洋介、岩原 千絵、中山 秀紀、真栄里 仁、木村 充、
松下 幸生、樋口 進
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

2-029-5 **自己治療仮説と信頼障害仮説に基づいた新しい依存症診療部門の設立と現状 依存症なんでも診療します**
佐久間 寛之[1]、福田 貴博[2]、野村 憲一[1]、野村 照幸[1]、村山 裕子[1]、○二ノ宮 彩乃[1]、佐藤 暁[1]、
村上 優[1]
[1]独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、[2]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

9:30～10:30 一般演題（口演）41
薬物療法 3

司会：**松永 寿人** 兵庫医科大学精神科神経科学講座

2-041-1 **うつ病・うつ状態患者に対する aripiprazole 増強療法の有効性・安全性についての検討 −1103 例の解析結果−**
○上島 国利[1]、安田 守良[2]、山村 佳代[2]、福田 泰彦[2]
[1]昭和大学、[2]大塚製薬株式会社

2-041-2 **慢性期統合失調症の幻聴に対するブロナンセリンの有用性と単剤化への試みおよび単剤化 10 年後の継続率の検討**
○西本 雅彦[1]、石垣 達也[2]、小山 雄史[2]、三浦 賢吾[1]、冨山 恵一郎[1]、若田部 博文[3]、黒岩 隆[1]
[1]医療法人社団青木末次郎記念会相州病院、[2]一般財団法人聖マリアンナ会東横恵愛病院、
[3]医療法人社団青木末次郎記念会あいかわ心療クリニック

2-041-3 **児童・青年期患者における向精神薬と QT 間隔の関連**
○折目 直樹[1,2]、鈴木 雄太郎[1,3]、杉本 篤言[1,2]、須貝 拓朗[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学研究科精神医学分野、[2]新潟県立精神医療センター、[3]医療法人敬愛会末広橋病院

2-041-4 **児童・青年期患者における向精神薬と安静時心拍数の関連**
○折目 直樹[1,2]、鈴木 雄太郎[1,3]、杉本 篤言[1,2]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学研究科精神医学分野、[2]新潟県立精神医療センター、[3]医療法人敬愛会末広橋病院

2-041-5 **精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究(EGUIDE プロジェクト)参加施設の評価**

○飯田 仁志[1]、伊賀 淳一[2]、越智 紳一郎[2]、安田 由華[3]、山本 智也[4]、稲田 健[5]、渡邊 衡一郎[6]、
橋本 亮太[7,8]、川嵜 弘詔[1]
[1]福岡大学医学部精神医学教室、[2]愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
[3]生きる・育む・輝くメンタルクリニック、[4]大阪大学医学部附属病院薬剤部、
[5]東京女子医科大学医学部精神医学講座、[6]杏林大学医学部精神神経科学教室、
[7]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、[8]大阪大学

10:40～12:40 シンポジウム 35
精神科領域における Shared Decision Making（SDM）の実現可能性

司会：**渡邊 衡一郎**　杏林大学医学部精神神経科学教室
藤井 千代　杏林大学医学部精神神経科学教室

S35-1 **精神科領域における Shared Decision Making（SDM）の実現可能性**

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

S35-2 **ピアサポーターと協働するリカバリー志向型共同意思決定システムの効果：無作為化比較試験**

○山口 創生[1]、種田 綾乃[2]、松長 麻美[1]、伊藤 順一郎[3]
[1]国立・精神神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部、
[2]神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部、[3]メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ

S35-3 **統合失調症初回入院患者に対する SDM の実施可能性 –救急入院料病棟における無作為化比較試験–**

○石井 美緒[1]、奥村 泰之[2]、杉山 直也[3]
[1]公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、[2]公益財団法人東京都医学総合研究所、
[3]公益財団法人復康会沼津中央病院

S35-4 **気分障害を対象としたホームワーク式 Shared Decision-Making**

○青木 裕見
聖路加国際大学大学院看護学研究科

S35-5 **SDM の現状の課題と今後の普及に向けての展望**

○高江洲 義和
杏林大学精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 渡邊 衡一郎　杏林大学医学部精神神経科学教室

13:50～15:50 シンポジウム 45
平成 30 年度診療報酬改定後のベンゾジアゼピン系睡眠薬の減量

司会：**小曽根 基裕**　久留米大学医学部神経精神医学講座
三島 和夫　秋田大学医学部付属病院

S45-1 **診療報酬改定の経緯と今後の課題**

○三島 和夫
秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

S45-2 **大腿骨近位部骨折患者におけるポリファーマシーの現状と、高齢医学科との連携による処方適正化への取り組み**

○大黒 正志[1]、萩行 正博[2]、東川 俊寛[1]、犬嶋 博美[2]、重本 顕史[2]、澤口 毅[2]
[1]金沢医科大学高齢医学、[2]富山市民病院

S45-3 **ウェルビーイング手法による睡眠薬減量**

○須賀 英道
龍谷大学短期大学部

S45-4 **睡眠薬減量の動機づけ動画作成の試み**

○天谷 美里[1]、小曽根 基裕[2]
[1]東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、[2]久留米大学医学部神経精神医学講座

S45-5 **全科共通の睡眠薬標準指示施行が転倒の事象に与える影響**

○小鳥居 望[1]、横山 晋二[2]、橋田 竜騎[3]、北野 登美子[2]、川野 佐由里[2]、岩越 有美[2]、古賀 和子[2]、新山 修平[2]、田中 芳明[2]、内村 直尚[1]
[1]久留米大学医学部神経精神医学講座、[2]久留米大学病院医療安全管理部、[3]久留米大学病院リハビリテーション部

〈コーディネーター〉 小曽根 基裕　久留米大学医学部神経精神医学講座

16:00～18:00 委員会シンポジウム 17（男女共同参画推進委員会）
母乳と授乳の精神医学

司会：**加茂 登志子**　若松町こころとひふのクリニック
　　早苗 麻子　萌クリニック

CS17-1 **授乳と母親-乳児関係：相互作用と心的発達の視点から**

○松木 邦裕
ちはやACTクリニック診療部

CS17-2 **母乳をめぐる歴史と文化**

○松岡 悦子
奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター協力研究員

CS17-3 **母乳・授乳にまつわる幻想とリアル**

○上別府 圭子
東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野

CS17-4 **ほ乳類に共通する、子の親への愛着の行動神経メカニズム**

○黒田 公美
理化学研究所脳神経科学研究センター

CS17-5 **〔指定発言〕**

○池淵 恵美
帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

〈コーディネーター〉 加茂 登志子　若松町こころとひふのクリニック
　　早苗 麻子　萌クリニック

6月21日（金） F会場（センター 2F 小会場）［中会議室201］

8:30〜9:30 一般演題（口演）30
ECT・ニューロモデュレーション

司会：**松尾 幸治** 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

2-030-1 電気けいれん療法において、カフェインが発作誘発の増強療法として有効であった 1 例

○中村 博大[1,2]、塩田 勝利[1]、高山 剛[1,2]、須田 史朗[1]
[1]自治医科大学精神医学教室、[2]上都賀総合病院精神科

2-030-2 クロザピン中止によるカタトニアと重篤なイレウスに、電気けいれん療法が奏功した難治性統合失調症の 1 例

○山田 裕士[1]、藤原 雅樹[1]、松井 友紀子[1]、流王 雄太[1]、酒本 真次[1]、川田 清宏[1]、髙木 学[1]、山田 了士[2]
[1]岡山大学病院精神科神経科、[2]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

2-030-3 電気けいれん療法の通電直後にたこつぼ型心筋症を発症した老年期女性：症例報告

○幅田 加以瑛、大森 一郎、上野 幹二、小坂 浩隆
福井大学医学部精神医学

2-030-4 うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法（rTMS）：当院における 2 症例報告

○山﨑 龍一、松田 勇紀、小高 文聰、鬼頭 伸輔、繁田 雅弘
東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-030-5 超短パルス波刺激による右片側性電気けいれん療法の有効性および忍容性

○山下 慶一、安田 和幸、有賀 祐、上田 哲也、小林 慶太、鈴木 健文
山梨大学医学部附属病院精神神経医学・臨床倫理学講座

9:30〜10:30 一般演題（口演）42
分子遺伝・動物モデル

司会：**入谷 修司** 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学

2-042-1 IL-18 の欠損状態がうつ病など精神症状発現に及ぼす影響について〜神経再生と Epigenetics な視点から〜

○山西 恭輔[1]、土江 伸誉[2]、橋本 卓也[1]、井窪 薫[1]、向井 馨一郎[1]、李 文[3]、渡辺 優子[4]、宇和 典子[1]、山西 博道[4]、岡村 春樹[3]、松永 寿人[1]
[1]兵庫医科大学精神科神経科学講座、[2]兵庫医療大学、[3]兵庫医科大学腫瘍免疫制御学、[4]社会福祉法人枚方療育園

2-042-2 マカクザルにおける心の理論の検討および内側前頭前野の不活性化によるその関連性について

○林 剛丞[1,2]、江川 純[1]、川嵜 圭祐[3]、秋川 諒太[4]、長谷川 功[3]、飯島 淳彦[4]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟県立精神医療センター、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科神経生理学分野、[4]新潟大学工学部工学科

2-042-3 腸内細菌叢の相違による宿主行動特性への影響：神経発達症を見据えて

○渡邉 己弦[1]、三上 克央[1]、西野 良[2]、木本 啓太郎[1]、相場 勇志[1]、山本 賢司[1]、松本 英夫[1]
[1]東海大学医学部専門診療学系精神科学、[2]新潟大学医歯学総合病院臨床研究推進センター

2-042-4 **統合失調症患者の脳内ゲノムにおけるコピー数変異の評価**

○坂井 美和子[1,2]、渡部 雄一郎[1]、染矢 俊幸[1]、荒木 一明[2]、澁谷 雅子[1]、新里 和弘[3]、大島 健一[3]、
國井 泰人[4]、矢部 博興[4]、松本 純弥[4]、和田 明[4]、日野 瑞城[4]、橋本 健志[5]、菱本 明豊[5]、
北村 登[5]、入谷 修司[3,6]、白川 治[5,7]、前田 潔[5,8]、宮下 哲典[9]、丹羽 真一[4]、高橋 均[10]、柿田 明美[10]、
桑野 良三[9]、那波 宏之[2]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟大学脳研究所分子神経生物学分野、[3]東京都立松沢病院、
[4]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、[5]神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、
[6]名古屋大学大学院精神医療学、[7]近畿大学医学部精神神経科学教室、[8]神戸学院大学社会リハビリテーション学科、
[9]新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野、[10]新潟大学脳研究所病理学分野

2-042-5 **双極性障害・反復性うつ病多発家系の強い遺伝要因の探索**

○髙松 岳矢[1,2]、柳 久美子[4]、小金渕 佳江[3]、李 俊錫[1]、原田 綾乃[1]、伊佐 睦美[3]、服部 功太郎[5,6]、
早川 朋子[7]、原（宮内）央子[8]、馬目 陽子[8]、長谷川 実奈美[8]、岡野 ジェイムス洋尚[8]、功刀 浩[5]、
近藤 毅[2]、木村 亮介[3]、要 匡[4]、松下 正之[1]
[1]琉球大学大学院医学研究科分子・細胞生理学講座、[2]琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、
[3]琉球大学大学院医学研究科人体解剖学講座、[4]国立成育医療研究センターゲノム医療研究部、
[5]国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾患研究第三部、
[6]国立精神・神経医療研究センターメディカル・ゲノムセンターバイオリソース部、[7]自治医科大学臨床薬理学講座、
[8]東京慈恵会医科大学再生医学研究部

10:40～12:20 ワークショップ５（PCN 編集委員会）
アクセプトされる精神医学研究論文の書き方

司会：**加藤 忠史**　理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム
神庭 重信　九州大学

WS5

〈講演者〉	神庭 重信	九州大学
	鈴木 道雄	富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学教室
	加藤 忠史	理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム
	髙橋 英彦	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学
	橋本 亮太	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
〈コーディネーター〉	加藤 忠史	理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム

13:50～15:50 シンポジウム 46
発達障害の連続・不連続とそれを踏まえた薬物療法について

司会：**齊藤 卓弥**　北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門
飯田 順三　奈良県立医科大学医学部看護学科

S46-1 **発達障害の連続・不連続について –注意欠如・多動症を中心に**

○岡田 俊
名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

S46-2 **薬物療法における子どもと大人の異同について**

○辻井 農亜
近畿大学医学部精神神経科学教室

S46-3 **発達障害に対する薬物療法の適応とモニタリング**

○宇佐美 政英
国立国際医療研究センター国府台病院

S46-4 **発達障害における薬物療法の中止時期についての検討**

◯齊藤 卓弥
北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

〈コーディネーター〉 齊藤 卓弥　北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門
飯田 順三　奈良県立医科大学医学部看護学科

16:00～18:00 委員会シンポジウム 18（精神保健福祉法委員会）
精神科医療における身体拘束の現状と課題

司会：**太田 順一郎**　岡山市こころの健康センター
岡崎 伸郎　独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

CS18-1 **精神病床での身体的拘束の法的特性と視点の整理**

◯山之内 芳雄
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神医療政策研究部

CS18-2 **我が国の精神科医療における隔離・身体拘束の問題点**

◯長谷川 利夫
杏林大学

CS18-3 **精神医療における身体的拘束・・・人権からの考察**

◯東 奈央
つぐみ法律事務所

CS18-4 **山梨県立北病院における身体拘束**

◯三澤 史斉
山梨県立北病院

〈コーディネーター〉 太田 順一郎　岡山市こころの健康センター
岡崎 伸郎　独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

6月21日（金） G会場（センター 3F 小会場）［中会議室301B］

8:30～9:30 一般演題（口演）31
ECT 関連・神経画像

司会：**内村 直尚** 久留米大学医学部神経精神医学講座

2-031-1 **慢性・難治例における反復経頭蓋磁気刺激法（rTMS）の治療的試み**

○田村 悠、宮本 礼子、神川 道穂、岡部 強、倉田 孝一
社会医療法人財団松原愛育会松原病院精神科

2-031-2 **電気痙攣療法（ECT）にて治療閾値の上昇を示す症例に対する合理的治療法**

○田中 康平、藤井 康男、宮田 量治
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院診療部

2-031-3 **自殺リスクの高いうつ病患者における安静時機能的結合の特徴**

○石川 和宏[1]、根本 清貴[2]、臼庭 等[3]、山田 典子[3]、矢口 知絵[3]、白鳥 裕貴[2]、袖山 紀子[3,4]、太刀川 弘和[2]、堀 孝文[3]
[1]医療法人社団八峰会池田病院、[2]筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、[3]茨城県立こころの医療センター、[4]筑波大学医学医療系臨床医学域地域・災害精神支援学

2-031-4 **Polymicrogyria（多小脳回症）を合併した血管型エーラス・ダンロス症候群の一例**

○塩江 遼太[1]、武藤 貴弘[1]、中野谷 貴子[1,2]、治徳 大介[1,2]、車地 暁生[1,2]、西川 徹[1,2]
[1]東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野

2-031-5 **体外授精を用いて妊娠し、経過中に橋中心髄鞘崩壊症の画像所見を呈した回避・制限性食物摂取症の妊婦の症例**

○竹田 和弘[1,2]、徳倉 達也[1]、内藤 顕人[1]、尾崎 紀夫[1]
[1]名古屋大学医学部附属病院精神科・親と子どもの心療科、[2]特定医療法人八誠会もりやま総合心療病院

9:30～10:30 一般演題（口演）43
児童・思春期、発達障害 3

司会：**松本 英夫** 東海大学医学部専門診療学系精神科学

2-043-1 **成人発達障害者の他者への信頼感の研究**

○横山 太範
医療法人社団心劇会さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

2-043-2 **自閉症スペクトラム障害（ASD）の就労を含む日常生活を維持するための診療**

○奈良 康
奈良心療クリニック精神科

2-043-3 **言語聴覚士と共に立ち上げた発達障害児対象のクリニック～1 年間のまとめ～**

○鈴木 啓子、木伏 結、赤坂 麻衣子、木村 智恵子、清野 由夏、阿部 あつ子、奥山 園子、長谷川 賢一
医療法人社団百合樹会かさはらLクリニック

2-043-4 **精神科病院における強度行動障害入院例（第 2 報）–行動療法と重度訪問介護による入院治療の可能性–**

○安藤 直也[1]、小山 千恵[1]、渡辺 宰子[1]、米村 千恵子[1]、佐藤 聖[1]、中村 恵子[1]、田口 祥子[1]、芳賀 彩織[1]、土屋 麻里奈[1]、長坂 晃人[1]、依田 真一[1]、飯島 尚高[2]、野口 直樹[3]、樋端 佑樹[4,5]、遠藤 謙二[1]
[1]医療法人友愛会千曲荘病院、[2]特定非営利活動法人たんと、[3]高水福祉会のぞみの郷高社、[4]あるぷすメンタルクリニック、[5]信州大学附属病院子どものこころ診療部

2-043-5 **ひきこもり外来を受診した成人の発達障害に対する心理社会的治療 –構造化された成人発達障害専門プログラムの効果–**

○河合 純[1]、桑原 秀樹[1,2]、中垣内 正和[1]
[1]ながおか心のクリニック、[2]医療法人社団総文会クリニック足立

10:40～12:40 委員会シンポジウム 13（精神保健福祉法委員会）
精神科医療における権利擁護制度 –とりわけアドボケーター・代弁者を巡って–

司会：**太田 順一郎** 岡山市こころの健康センター
大石 賢吾 千葉大学大学院医学研究院精神医学

CS13-1 **海外の精神科医療における権利擁護者制度について**

○佐竹 直子
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS13-2 **精神科入院患者に対する意思決定支援：モデル事業の結果を踏まえて**

○白石 弘巳
埼玉県済生会鴻巣病院

CS13-3 **入院に係る精神障害者の意思決定及び意思の表明に関するアドボケーターガイドライン**

○中島 公博
医療法人社団五稜会病院

CS13-4 **日本の精神医療に求められる真の「権利擁護者」とは？**

○竹端 寛
兵庫県立大学環境人間学部

CS13-5 **精神障害者に必要な権利擁護者とは～法律家の立場から**

○姜 文江
法律事務所ヴェント

〈コーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

13:50～15:50 シンポジウム 47
国際カップルをめぐる諸問題と破局例の検討

司会：**倉本 英彦** 歌舞伎町メンタルクリニック
神山 昭男 外務省参与、有楽町桜クリニック

S47-1 **日仏カップルをめぐる諸問題と破局の要因について**

○太田 博昭
CMPF（パリ邦人医療相談室）

S47-2 **ラテンアメリカ人女性と日本人男性の国際結婚の問題について**

○阿部 裕
四谷ゆいクリニック

S47-3 **国際結婚カップルの不和～外国人の夫が「ぼくの妻は冷たい」と言う時～**

○松永 優子
めじろそらクリニック

S47-4 **〔指定発言〕**

○須藤 美恵
東京大学医学系研究科精神看護学分野

S47-5 〔指定発言〕

○下門 敬史
下門国際総合法律事務所

〈コーディネーター〉 紫藤 昌彦　　紫藤クリニック精神科

16:00〜18:00 シンポジウム 52
任意入院の開放処遇でうつ病の自殺を防止する –ストレスケア病棟の調査から–

司会：**川嵜 弘詔**　福岡大学医学部精神医学教室
市来 真彦　東京医科大学精神医学分野

S52-1 **働くうつ病患者の治療はどこが最適か？〜産業医の立場から〜**

○市来 真彦
東京医科大学病院メンタルヘルス科

S52-2 **ストレスケア病棟におけるリワーク準備プログラム**

○信田 広晶
医療法人社団心癒会しのだの森ホスピタル

S52-3 **阪南病院での入院患者への自殺予防対策**

○黒田 健治、土井 拓、熊取谷 知征、川村 吉彦、濱田 慶一郎、山本 庸太、白銀 薫、
長谷川 雅文、戎 伸一郎、上坂 謙悟
阪南病院医局

S52-4 **精神科病院で入院中に起こった自殺の調査から学ぶこと**

○松下 満彦[1,2]、徳永 雄一郎[1]、後藤 玲央[1,2]、奥村 幸祐[1]、高田 和秀[1,2]、島松 まゆみ[1]、
中野 心介[1,2]、小柳 綾[1]、原田 康平[1,2]、川嵜 弘詔[2]
[1]医療法人新光会不知火病院精神科、[2]福岡大学医学部精神医学教室

〈コーディネーター〉 徳永 雄一郎　不知火病院精神科

6月21日（金） H会場（センター 3F 小会場）［中会議室301A］

8:30〜9:30 一般演題（口演）32
臨床検査・バイオマーカー

司会：**大久保 善朗** 日本医科大学大学院精神・行動医学

2-032-1 未治療単極性うつ病患者における、音声病態分析による診断精度（HAMD 重症度予測）の検証

○宗 未来[1,2]、大宮 康宏[3]、高野 毅[3]、浦口 智貴[3]、篠原 修二[4]、中村 光晃[4]、樋口 政和[4]、光吉 俊二[4]、徳野 慎一[4]
[1]東京歯科大学市川総合病院精神科、[2]銀座泰明クリニック、[3]PST株式会社、
[4]東京大学大学院医学系研究科音声病態分析学講座

2-032-2 うつ状態 –SDS による重症度自己評価と UBOM による精神機能評価

丹羽 真一[1]、○後藤 大介[2]
[1]福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、[2]福島県精神保健福祉センター

2-032-3 不確実な状況における自閉スペクトラム症の意思決定パターンについて：行動経済学的アプローチ

○藤野 純也[1,2]、鄭 志誠[1,2,3,4]、板橋 貴史[1]、青木 悠太[1]、太田 晴久[1,5]、久保田 学[1,2,6]、橋本 龍一郎[1,7]、中村 元昭[1,8]、加藤 進昌[1]、高橋 英彦[1,2]
[1]昭和大学発達障害医療研究所、[2]京都大学大学院医学研究科精神医学教室、[3]早稲田大学応用脳科学研究所、
[4]東京国際大学人間社会学部スポーツ科学科、[5]昭和大学医学部精神医学講座、
[6]量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部、
[7]首都大学東京大学院人文科学研究科言語科学教室、[8]神奈川県立精神医療センター

2-032-4 教員向けメンタルヘルスリテラシー教育プログラムの効果について

○上田 淳哉[1]、松田 康裕[1]、盛本 翼[1]、岡崎 康輔[1]、北岡 啓[1,2]、森戸 瞳[1]、中島 史裕[1]、佐々木 寛[1]、濱野 泰光[1]、松隈 誠矢[3]、山口 智史[3]、佐々木 司[3]、岸本 年史[1]
[1]奈良県立医科大学精神医学講座、[2]公益財団法人復光会垂水病院、[3]東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野

2-032-5 精神科入院患者の居住衛生環境の実態調査非特異的 IgE 抗体と MAST36 によるアレルギー反応とアレルゲン

○野村 憲一[1]、佐久間 寛之[1]、山田 悠至[2]、村上 優[1]
[1]独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、[2]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

9:30〜10:30 一般演題（口演）44
コンサルテーション・リエゾン 1

司会：**山田 了士** 岡山大学大学院精神神経病態学

2-044-1 当院の精神科身体合併症病棟の立ち上げについて

○浅野 聡子[1]、椎名 是文[1]、大久保 健[1]、田口 茂正[2]、清田 和也[2]、三澤 仁[1]
[1]さいたま赤十字病院心療科、[2]さいたま赤十字病院救急科

2-044-2 緩和ケアを希望する乳がん患者の臨床的特徴

○櫛野 宣久[1,4]、平川 麻美[2,4]、藤本 晴美[5]、沼里 貞子[5]、月川 賢[3,4]、古茶 大樹[1]
[1]聖マリアンナ医科大学神経精神科学、[2]聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学、
[3]聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科学、[4]聖マリアンナ医科大学緩和医療学、[5]聖マリアンナ医科大学病院看護部

2-044-3 総合病院における自殺既遂者の特徴に関する予備的検討

○三宅 誕実、橋本 知明、久米 歩、穴井 己理子、清水 千春、古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

2-044-4 レシピエントの腎機能廃絶を契機にうつ病を発症し、自死に至った生体腎ドナーの一例

○岡田 剛史[1]、松本 健二[1]、大塚 公一郎[2]、塩田 勝利[1]、小林 聡幸[1]、須田 史朗[1]
[1]自治医科大学附属病院精神科、[2]自治医科大学看護学部

2-044-5 **内リンパ水腫における精神疾患併存**

○清水 謙祐[1,2]、松田 圭二[2]、船橋 英樹[3]、吉田 建世[1]、石田 康[3]、東野 哲也[2]
[1]医療法人建悠会吉田病院精神科、[2]宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室、
[3]宮崎大学医学部臨床神経学会講座精神医学分野

10:40～12:40 シンポジウム 36
統合失調症バイオマーカーとしての Mismatch negativity（MMN）

司会：**矢部 博興**　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
住吉 太幹　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S36-1 **統合失調症および精神病発症リスク状態におけるミスマッチ陰性電位の有用性**

○樋口 悠子[1,2]、住吉 太幹[2]、立野 貴大[1]、西山 志満子[1]、高橋 努[1]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、
[2]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

S36-2 **統合失調症におけるミスマッチ陰性電位**

○荒木 剛、切原 賢治、越山 太輔、永井 達哉、多田 真理子、藤岡 真生、臼井 香、笠井 清登
東京大学医学部附属病院精神神経科

S36-3 **双極性障害・うつ病のミスマッチ陰性反応**

○鬼塚 俊明、平野 羊嗣、平野 昭吾
九州大学病院精神科神経科

S36-4 **統合失調症のドパミンシステムとミスマッチ陰性電位（MMN）**

○志賀 哲也、堀越 翔、穂積 宏俊、森 湧平、和田 知紘、落合 晴香、星野 大、菅野 和子、
刑部 有祐、野崎 途也、疋田 雅之、板垣 俊太郎、三浦 至、松岡 貴志、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

〈コーディネーター〉 矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

13:50～15:50 シンポジウム 48
生物学的精神医学のフロンティア

司会：**尾崎 紀夫**　名古屋大学大学院医学系研究科精神医学
加藤 忠史　理化学研究所脳科学総合研究センター

S48-1 **精神疾患のゲノム解析に基づいた病態研究**

○久島 周
名古屋大学高等研究院（医）

S48-2 **精神疾患の動物モデル/細胞モデルによる研究**

○鳥塚 通弘
奈良県立医科大学附属病院精神科

S48-3 **精神疾患の薬理ゲノム学**

○齋藤 竹生
藤田医科大学医学部精神科

S48-4 **超診断的な症状 –脳関係　および診断の影響**

○青木 悠太
昭和大学発達障害医療研究所

〈コーディネーター〉 牧之段 学　奈良県立医科大学医学部精神科

16:00〜18:00 シンポジウム 53
反芻思考とうつ病

司会：**中川 敦夫**　慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門
貝谷 久宣　医療法人和楽会/医療法人和楽会パニック症研究センター

S53-1 **シンポジウム導入 –うつ病における反芻思考の意義**
○貝谷 久宣[1,2]
[1]医療法人和楽会、[2]医療法人和楽会パニック症研究センター

S53-2 **反芻思考と抑うつの神経科学**
○市川 奈穂、岡本 泰昌
広島大学大学院精神神経医科学

S53-3 **不安・抑うつ発作は、抑うつ的反芻思考による発作である**
○岸本 智数[1]、正木 美奈[1]、貝谷 久宣[1,2]
[1]医療法人和楽会なごやメンタルクリニック、[2]医療法人和楽会パニック症研究センター

S53-4 **反芻思考へのアプローチ：反芻焦点化認知行動療法**
○中川 敦夫
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門

〈コーディネーター〉 貝谷 久宣　医療法人和楽会/医療法人和楽会パニック症研究センター
岡本 泰昌　広島大学大学院精神神経医科学

6月21日（金） I会場（センター 3F 小会場）[中会議室302B]

8:30～9:30 一般演題（口演）33
睡眠障害・てんかん

司会：**井上 幸紀** 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

2-033-1 レム睡眠行動障害における抑うつ症状の異質性 認知機能・自律神経・ドパミン神経変性との関連
○角 幸頼[1]、松尾 雅博[1]、栗山 健一[1]、鷹見 将規[2]、角谷 寛[2]
[1]滋賀医科大学精神医学講座、[2]滋賀医科大学睡眠行動医学講座

2-033-2 薬剤抵抗性特発性過眠症の治療中に発達障害が判明した一例
○佐尾 知子、尾﨑 優樹、奥村 力、高石 裕介、仲地 究、細川 里瑛、山崎 聖広、河邉 憲太郎、清水 秀明、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院

2-033-3 トラムセットの急激な中止によりむずむず脚症候群を呈した症例
○松木 晴香、須貝 拓朗、折目 直樹、福井 直樹、染矢 俊幸
新潟大学医歯学総合病院精神科

2-033-4 福島県立医科大学附属病院における診療科別の睡眠薬使用状況について
○浅野 太志、堀越 翔、松本 純弥、野崎 途也、戸田 亘、穂積 宏俊、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座

2-033-5 結節性硬化症による症候性局在関連性てんかんにペランパネルが著効した一例
○仙 万梨子、堀之内 徹、栗田 紹子、櫻井 高太郎、武田 洋司、久住 一郎
北海道大学病院精神科神経科

9:30～10:30 一般演題（口演）45
コンサルテーション・リエゾン２

司会：**吉村 玲児** 産業医科大学医学部精神医学教室

2-045-1 不安障害に併存した脳脊髄液漏出症の１例
○清水 謙祐[1,2]、松田 圭二[2]、船橋 英樹[3]、石田 康[3]、吉田 建世[1]、國弘 幸伸[4]、江口 議八郎[5]、東野 哲也[2]
[1]医療法人建悠会吉田病院精神科、[2]宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室、
[3]宮崎大学医学部臨床神経学会講座精神医学分野、[4]慶応大学医学部耳鼻咽喉科、[5]熊本機能病院脳神経外科

2-045-2 幻聴スコア：AhHI（Auditory hallucination Handicup Inventory）の有用性
○清水 謙祐[1,2]、松田 圭二[2]、船橋 英樹[3]、石田 康[3]、吉田 建世[1]、東野 哲也[2]
[1]医療法人建悠会吉田病院精神科、[2]宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室、
[3]宮崎大学医学部臨床神経学会講座精神医学分野

2-045-3 咽頭違和感を主訴のうつ病治療中に球麻痺型筋萎縮性側索硬化症と診断された一例
○柄池 真規子[1]、廣岡 亜矢[2]、金子 鋭[3,4]
[1]済生会泉尾病院精神科、[2]済生会泉尾病院呼吸器内科、[3]関西医科大学付属病院脳神経内科、
[4]済生会泉尾病院脳神経内科

2-045-4 当院における植込型補助人工心臓装着患者に対する精神科リエゾンチームの活動報告
○松坂 雄亮[1,2]、福田 和久[1]、福田 亜紀[3]、木下 裕久[1]、今村 明[1]、小澤 寛樹[1]
[1]長崎大学病院精神科神経科、[2]長崎大学病院医療教育開発センター、[3]長崎大学病院看護部

2-045-5 ポータブル脳波計に AI 技術を適用したせん妄のスクリーニングアルゴリズムの開発
○篠崎 元[1]、平岡 和明[2]、梶谷 まり[2]、角田 友将[2]、鈴木 浩子[2]、伊海 佳昭[2]、門岡 良昌[2]
[1]University of Iowa Department of Psychiatry、[2]富士通研究所

10:40～12:20 ワークショップ 6
身体疾患を有する患者の自殺および希死念慮に対するリエゾン・コンサルテーション

司会：**清水 研**　国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
西村 勝治　東京女子医科大学病院

WS6

〈講演者〉
佐伯 吉規　がん研究会有明病院
岩田 正明　鳥取大学医学部附属病院
明智 龍男　名古屋市立大学病院
桑原 達郎　国家公務員共済組合連合会立川病院

〈コーディネーター〉
清水 研　国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
西村 勝治　東京女子医科大学病院

13:50～15:30 ワークショップ 7
脳波の応用コース

司会：**山内 俊雄**　埼玉医科大学名誉学長
矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

WS7

〈講演者〉
山内 俊雄　埼玉医科大学名誉学長
原 恵子　原クリニック
太田 克也　恩田第二病院
渡邊 さつき　埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

〈コーディネーター〉
矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
太田 克也　恩田第二病院

16:00～18:00 シンポジウム 54
成人の自閉スペクトラム症における精神科医と心理職の協働 –日常診療で公認心理師にどう活躍してもらうか

司会：**宮岡 等**　北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学
青木 省三　公益財団法人滋圭会精神医学研究所

S54-1 **成人自閉スペクトラム症臨床における心理職の役割**
○井上 勝夫
北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学

S54-2 **医療における成人 ASD 治療で我々は何をしているのか**
○原田 剛志
パークサイドこころの発達クリニック

S54-3 **当院での心理士との協業**
○橋本 大彦
橋本クリニック精神科

S54-4 **成人自閉スペクトラム症の理解と治療 –心理職がいない環境で診る場合を含めて–**
○村上 伸治
川崎医科大学精神科学教室

〈コーディネーター〉井上 勝夫　北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学

6月21日（金） J会場（センター 3F 小会場）［中会議室302A］

8:30～9:30 一般演題（口演）34
社会・司法精神医学

司会：**康 純** 大阪医科大学総合医学講座神経精神医学教室

2-034-1 通院処遇移行対象者の地域生活の現状と課題

○竹田 康二[1,2]、菅原 典夫[3]、松田 太郎[1]、島田 明裕[1]、岡田 幸之[2]、平林 直次[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター病院精神科、[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野、
[3]国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター

2-034-2 HIV/AIDS 診療従事者と精神医療従事者の連携と課題 –平成 27～29 年度厚労省エイズ対策研究事業から–

○角谷 慶子、仲倉 高広
長岡ヘルスケアセンター（長岡病院）

2-034-3 精神科入院患者における自殺関連行動の特徴と治療アウトカム –医療の質の観点から

○森脇 久視、茨木 丈博、伊津野 拓司、和田 直樹、林田 治美、伊藤 恵理子、板橋 登子、
岩井 一正
神奈川県立精神医療センター精神科

2-034-4 精神科患者の医療上の意思決定支援について –身体的急変時の延命処置希望に関する取り組みから–

○福田 陽明[1]、井藤 佳恵[1]、村端 祐樹[1]、佐々木 亮[1]、頃安 英毅[1]、樫山 鉄矢[2]、齋藤 正彦[1]
[1]東京都立松沢病院精神科、[2]東京都立松沢病院一般科

2-034-5 被虐待経験をもつ矯正施設被収容者

○宮本 悦子
東日本成人矯正医療センター

9:30～10:30 一般演題（口演）46
精神科救急 2

司会：**川勝 忍** 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

2-046-1 都道府県における「心の健康（K6）」の推移と地域要因の分析

○花岡 晋平[1,2]、北澤 健文[2]、松本 邦愛[2]、深見 悟郎[1]、平田 豊明[1]、長谷川 友紀[2]
[1]千葉県精神科医療センター、[2]東邦大学医学部社会医学講座

2-046-2 千葉県精神科救急医療圏における入院及び外来患者数の将来予想

○高橋 由美子[1,4]、花岡 晋平[1,2]、阿部 貴之[1]、澁谷 孝之[1]、深見 悟郎[1]、平田 豊明[1,3]
[1]千葉県精神科医療センター、[2]東邦大学医学部社会講座、[3]医療法人学而会木村病院、[4]医療法人直樹会磯ヶ谷病院

2-046-3 精神科救急入院料病棟における医療安全文化と精神的ストレス（K6）の経時分析

○五十嵐 佑弥[1]、花岡 晋平[1,2]、藤田 茂[2]、中田 正浩[1]、澁谷 孝之[1]、深見 悟郎[1]、平田 豊明[1,3]
[1]千葉県精神科医療センター、[2]東邦大学医学部社会医学講座、[3]医療法人学而会木村病院

2-046-4 軽症セロトニン症候群に対して、マプロチリンへの慎重な切り替えが有効であった反復性うつ病の一例

○醍醐 龍之介、山﨑 龍一、松田 勇紀、繁田 雅弘
東京慈恵会医科大学精神医学講座

2-046-5 **長年にわたり統合失調症として治療されてきたギャンブル依存症の一例**

○川合 秀明、宇野 宏光、山田 真理、佐藤 彩夏、岩見 有里子、長塚 雄大、田中 宏明、
常岡 俊昭、高塩 理、岩波 明
昭和大学烏山病院精神科

10:40～12:40 シンポジウム 37
環境や食生活とメンタルヘルス

司会：**寺尾 岳**　大分大学医学部精神神経医学講座
井上 猛　東京医科大学精神医学分野

S37-1 **食生活とメンタルヘルス**

○松岡 豊
国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター健康支援研究部

S37-2 **児童思春期における微量なリチウム摂取とメンタルヘルス**

○安藤 俊太郎[1,2]、西田 淳志[2]、山崎 修道[2]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部付属病院精神神経科、[2]公益財団法人東京都医学総合研究所

S37-3 **養育環境と精神疾患**

○井上 猛
東京医科大学精神医学分野

S37-4 **微量なリチウムと自殺関連行動や認知症予防**

○石井 啓義、寺尾 岳
大分大学医学部附属病院精神科

〈コーディネーター〉 寺尾 岳　大分大学医学部精神神経医学講座

13:50～15:50 シンポジウム 49
子どもを虐待したくてしているわけじゃない！ –逆境体験(ACE)に精神科医療はどう向き合うか–

司会：**上野 千穂**　京都市児童福祉センター診療所
山下 浩　さいたま市子ども家庭総合センター

S49-1 **児童期逆境体験（ACE）とその影響、および養育者支援研究**

○友田 明美
福井大学子どものこころの発達研究センター

S49-2 **児童福祉現場における「発達性トラウマ障害」、「Complex PTSD」～新たな見立ての軸を得て～**

○稲葉 啓通[1,2]、石坂 好樹[2]
[1]京都桂病院、[2]ももの木学園（児童心理治療施設）精神科

S49-3 **児童相談所の保護者支援～地域に繋いでいくために**

○陶山 寧子
横浜市西部児童相談所

S49-4 **精神科医療におけるトラウマインフォームドケア**

○亀岡 智美
兵庫県こころのケアセンター

〈コーディネーター〉 山下 浩　さいたま市子ども家庭総合センター

16:00〜18:00 シンポジウム 55
患者の違法薬物使用を知ったとき、精神科医はどうふるまうべきなのか?

司会：**椎名 明大**　千葉大学社会精神保健教育研究センター
松本 俊彦　国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S55-1 **薬物依存症臨床における守秘義務の重要性**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

S55-2 **麻薬中毒者届出制度の意義と課題**
○松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S55-3 **公務員の犯罪告発義務をめぐる問題**
○柑本 美和
東海大学

S55-4 **弁護士から見た、診療情報とそれに関する守秘義務の問題について**
○森野 嘉郎
東京パーソナル法律事務所

S55-5 **薬物使用者の権利擁護の立場から**
○古藤 吾郎
日本薬物政策アドボカシーネットワーク

S55-6 **〔指定発言〕**
○杉山 直也
公益財団法人復康会沼津中央病院

〈コーディネーター〉 松本 俊彦　国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部
成瀬 暢也　埼玉県立精神医療センター

6月21日（金） K会場（センター 3F 中会場）［小会議室303＋304］

8:30〜9:30 一般演題（口演）35
診断学 1

司会：**野間 俊一** 嵯峨さくら病院

2-035-1 統合失調症患者にバウムテストを長期的・縦断的に行って見いだした興味ある所見

○桑原 治雄[1,2]、小林 敏子[2]、鈴木 康広[2]、朝井 忠[2]、朝井 廉[2]
[1]桑原クリニック、[2]京都バウムテスト研究会

2-035-2 レビー小体病を併発した統合失調症の 1 例

○湯川 尊行[1]、寺島 健史[2]、井上 絵美子[1]、有波 浩[1,3]、恩田 啓伍[1]、染矢 俊幸[3]
[1]魚沼基幹病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター神経内科、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-035-3 抑うつ性混合状態と自閉スペクトラム症との関連

○新里 輔鷹[1]、栗原 雄大[1,2]、石橋 孝勇[1,2]、甲田 宗良[1]、中村 明文[1,3]、近藤 毅[1]
[1]琉球大学医学部附属病院精神神経科、[2]独立行政法人国立病院機構琉球病院、[3]あかりクリニック

2-035-4 気分障害における“価値の二極化”の背景に存在する脳内処理メカニズムについて

○池田 裕
公盡会出水病院精神科

2-035-5 辺縁系脳炎の一症例の診断における症候学の重要性

○菊池 孝
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター精神科

9:30〜10:30 一般演題（口演）47
分子遺伝・その他

司会：**白波瀬 丈一郎** 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

2-047-1 ゲノムワイド遺伝子多型データを用いた機械学習によるうつ状態脆弱性の予測

○髙橋 雄太[1,2]、植木 優夫[2]、田宮 元[2]、荻島 創一[2]、長神 風二[2]、福本 健太郎[3]、大塚 耕太郎[3]、
山本 雅之[2]、富田 博秋[1,2]
[1]東北大学病院精神科、[2]東北メディカル・メガバンク機構、[3]岩手医科大学附属病院

2-047-2 メタボロームデータを用いた非線形変数選択機械学習によるうつ状態の予測

○髙橋 雄太[1,2]、植木 優夫[2,3]、山田 誠[3]、田宮 元[2,3]、元池 育子[2]、三枝 大輔[2]、櫻井 美由紀[2]、
長神 風二[2]、小柴 生造[2]、木下 賢吾[2]、山本 雅之[2]、富田 博秋[1,2]
[1]東北大学病院精神科、[2]東北メディカル・メガバンク機構、[3]理化学研究所AIPセンター

2-047-3 統合失調症合併血管性認知症における易怒性・興奮にフルボキサミン併用療法が有用であった 1 例

○塚原 優、中村 有香、矢田 勇慈、来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター医療部

2-047-4 入院直前の過食により著しい低 P 血症となった神経性やせ症の一例

○上松 万里子、木村 大樹、竹田 和弘、田中 聡、尾崎 紀夫
名古屋大学病院精神科・親と子どもの心療科

10:40〜12:40 シンポジウム 38
第三世代認知行動療法を精神科臨床に活かす

司会：**貝谷 久宣**　赤坂クリニック
岡本 泰昌　広島大学病院

S38-1 **行動活性化の臨床応用 –可能性と限界–**
○神人 蘭[1]、高垣 耕企[2]、岡本 泰昌[3]
[1]広島大学病院精神科、[2]広島大学保健管理センター、[3]広島大学大学院精神神経医科学

S38-2 **精神科臨床におけるマインドフルネスの活用**
○佐渡 充洋
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S38-3 **アクセプタンス＆コミットメント・セラピーを病院臨床で活かす**
○近藤 真前
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S38-4 **医療者にマインドフルネスを活かす**
○林 紀行
ほうせんか病院心療内科

S38-5 **〔指定発言〕**
○藤澤 大介
慶應義塾大学病院

〈コーディネーター〉 佐渡 充洋　慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

13:50〜15:30 ワークショップ 8（司法精神医学委員会）
統合失調症の精神鑑定

司会：**五十嵐 禎人**　千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
吉岡 眞吾　独立行政法人国立病院機構東尾張病院

WS8 〈講演者〉
村松 太郎　慶應義塾大学医学部精神神経科
田口 寿子　神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター
太田 順一郎　岡山市こころの健康センター
赤崎 安昭　鹿児島大学医学部保健学科

〈コーディネーター〉 五十嵐 禎人　千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

16:00〜18:00 シンポジウム 56
新アウトリーチ事業に始まる日本の精神科地域包括ケアシステムの可能性

司会：**原 敬造**　医療法人原クリニック
窪田 彰　医療法人草思会錦糸町クボタクリニック

S56-1 **多機能型精神科診療所の「新たなアウトリーチ事業」の受託による精神科地域ケアの発展**
○窪田 彰
医療法人草思会錦糸町クボタクリニック

S56-2 **埼玉県済生会鴻巣病院におけるアウトリーチ事業の結果と課題**
○白石 弘巳、関口 暁雄、栗田 早苗、關 紳一
埼玉県済生会鴻巣病院

S56-3 **浜松市における多機能型精神科診療所によるアウトリーチ事業の進行状況が目指すもの**

○大嶋 正浩
医療法人至空会メンタルクリニック・ダダ

S56-4 **民間支援機関と行政機関の連携による、新たな精神科アウトリーチ事業の可能性について**

○黒田 安計
さいたま市子ども家庭総合センター

S56-5 **〔指定発言〕**

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 窪田 彰　医療法人草思会錦糸町クボタクリニック
原 敬造　医療法人原クリニック

6月21日（金） L会場（センター 3F 中会場）［小会議室306＋307］

8:30～9:30 一般演題（口演）36
児童・思春期、発達障害 2

司会：**尾関 祐二** 滋賀医科大学精神医学講座

2-036-1 **大人の ADHD の当事者と医療者が一緒に活用できる治療選択の手引き Decision Aid の開発 – SDM 促進にむけて**

○青木 裕見[1]、坪井 貴嗣[2]、高江洲 義和[2]、古野 毅彦[3]、萱間 真美[1]、中山 和弘[1]、渡邊 衡一郎[2]
[1]聖路加国際大学大学院看護学研究科、[2]杏林大学医学部精神神経科学教室、
[3]独立行政法人国立病院機構東京医療センター

2-036-2 **森田療法的面接と環境調整によって改善した思春期の神経症 4 症例について**

○原田 聰志、福治 康秀
独立行政法人国立病院機構琉球病院精神科

2-036-3 **当院思春期病棟における自殺暴力関連事象について**

○森脇 久視、横山 琢也、金澤 さやか、浅沼 和哉、礒﨑 仁太郎、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター精神科

2-036-4 **児童思春期精神医療の充実に向けた地域の取り組み –札幌モデル–**

○齊藤 卓弥
北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

2-036-5 **外来患者における属性と AQ-J 下位項目の性差**

○倉田 孝一[1]、日野 昌力[2]
[1]社会医療法人財団松原愛育会松原病院医療部、[2]石川県立高松病院

9:30～10:30 一般演題（口演）48
精神療法・その他

司会：**渡邊 衡一郎** 杏林大学医学部精神神経科学教室

2-048-1 **身体拘束の有効性について論ず**

○栗本 藤基
医療法人藤樹会滋賀里病院精神科

2-048-2 **三空間五段階面接法の応用**

○栗本 藤基
医療法人藤樹会滋賀里病院精神科

2-048-3 **症状との共存に工夫を要した高齢者の身体症状症の一例**

○市川 光[1]、小曽根 基裕[2]、平山 佳奈子[1]、児玉 和佳子[1]、繁田 雅弘[1]
[1]東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、[2]久留米大学医学部神経精神医学講座

2-048-4 **宮崎大学医学部附属病院精神科の 40 年間の入院診療概況**

○日髙 弘登、三好 良英、松尾 寿栄、石田 康
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野

10:40～12:40 シンポジウム 39
(日本精神神経科診療所協会推薦)私たちはなぜクリニックを開業したか –日精診女性会員の場合–

司会：**三原 伊保子**　医療法人りぼん・りぼん三原デイケア＋クリニックりぼん・りぼん
望月 美知子　つつじが岡メンタルクリニック

S39-1　**触法事例の地域支援にチームで取り組む**
○長谷川 直実
医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

S39-2　**精神科医としてのアイデンティティを探して**
○田中 理香
スタジオリカクリニック

S39-3　**女性の開業について考える**
○海老澤 佐知江
アルバ・メンタルクリニック精神科

S39-4　**いろいろあっても働き続けたい**
○新田 活子
医療法人社団新木会木の花メンタルクリニック精神科

S39-5　**生涯医療人実現のためのてんかん専門クリニック開設**
○渡辺 雅子
新宿神経クリニック

〈コーディネーター〉　三原 伊保子　医療法人りぼん・りぼん三原デイケア＋クリニックりぼん・りぼん
佐藤 眞弓　医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック
早苗 麻子　萌クリニック

13:50～15:30 ワークショップ 9
新アルコール使用障害の診断治療ガイドラインに基づく治療の実際

司会：**齋藤 利和**　北仁会幹メンタルクリニック
白坂 知信　医療法人北仁会石橋病院

WS9　〈講演者〉
宮田 久嗣　東京慈恵会医科大学附属病院
樋口 進　独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科
杠 岳文　独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

〈コーディネーター〉　樋口 進　独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科

16:00～18:00 シンポジウム 57
認知症非専門医のための認知症診療の基本

司会：**水上 勝義**　筑波大学大学院人間総合科学研究科
馬場 元　順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック/順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学

S57-1　**長谷川式簡易知能スケールと MMSE の取り方と評価の仕方**
○谷向 知
愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学講座老年・精神地域包括ケア学

S57-2 **おさえておきたい認知症画像診断の基礎：CT、MRI から SPECT 検査まで**

○川勝 忍[1]、小林 良太[2]、林 博史[2]
[1]福島県立医科大学会津医療センター附属病院、[2]山形大学医学部付属病院

S57-3 **ときどき遭遇する認知症**

○新井 哲明
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

S57-4 **抗認知症薬の使い方の基本**

○馬場 元
順天堂大学医学部付属順天堂越谷病院

S57-5 **パーキンソニズムを呈する認知症 −神経内科の視点からの診断と治療−**

○髙梨 雅史、服部 信孝
順天堂大学医学部脳神経内科

〈コーディネーター〉 馬場 元　順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック/順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学
水上 勝義　筑波大学大学院人間総合科学研究科

6月21日（金） M会場（センター 4F 中会場）[国際会議室]

8:30～9:30 一般演題（口演）37
精神療法

司会：**大谷 浩一** 山形大学医学部精神医学講座

2-037-1 **Jaspersの精神療法論 初版と第二版の違いに注目して**
○佐藤 晋爾
茨城県立中央病院兼任筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科

2-037-2 **うつ病の回復期における休養と行動的介入：森田療法の視点から**
○新村 秀人[1]、北西 憲二[2,3]
[1]慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、[2]北西クリニック、[3]森田療法研究所

2-037-3 **Comorbid substance use disorders associated with life expectancy reduction in people with psychotic disorders：an electronic case register study.**
○Rashmi Patel[1]、Edward Chesney[1]、Sam Hollandt[1]、Chi-Kang Chang[1]、Megan Pritchard[2]、Philip McGuire[1]
[1]Department of Psychosis Studies, IoPPN, King's College London、[2]NIHR Biomedical Research Centre, South London and Maudsley NHS Foundation Trust

2-037-4 **The Digital Phenotype：A new era for Precision Psychiatry**
○Rashmi Patel、Philip McGuire
Department of Psychosis Studies, IoPPN, King's College London

9:30～10:30 一般演題（口演）49
てんかん

司会：**和知 学** 医療法人青山信愛会新潟信愛病院

2-049-1 **良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんと慢性精神病の併発例**
○立澤 賢孝[1]、角谷 真人[2]、海田 賢一[2]、吉野 相英[1]
[1]防衛医科大学校病院精神科、[2]防衛医科大学校病院神経内科

2-049-2 **二度の偶発的低体温症における特徴的三相波の反復**
○濱本 優[1,2]、田宗 秀隆[1,3]、越膳 航平[1]、廣瀬 友利彬[1]、福島 康浩[1]、山口 順嗣[1]、櫻井 薫[1]、寺澤 佑哉[1]、玉井 眞一郎[1]、日野 慶子[1]、山本 直樹[1]
[1]東京都立多摩総合医療センター精神神経科、[2]東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科、[3]東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

2-049-3 **C11-carfentanil画像を用いた、側頭葉てんかんの不安・うつ症状におけるオピオイド受容体結合能の検討**
○曾根 大地、Marian Galovic、Jacqueline Foong、Matthias Koepp
University College London Institute of Neurology

2-049-4 **限局性皮質異形成（FCD）の精神病理の情報処理的検討 –EEGダイポール法による異常部位の経時的可視化–**
○瀧川 守國[1,2]、鹿井 博文[1]、今村 圭介[1]
[1]医療法人公盡会出水病院、[2]鹿児島大学

2-049-5 **てんかん患者では罹病期間に応じて不安が高まる**
○堀之内 徹、櫻井 高太郎、栗田 紹子、武田 洋司、久住 一郎
北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室

10:40～11:40 特別講演 1

同時通訳(E→J)

司会：**加茂 登志子** 若松町こころとひふのクリニック

Current issues in women's mental health

○Helen Herrman
President, World Psychiatric Association/Orygen, The National Centre of Excellence in Youth Mental Health and the Centre for Youth Mental Health, The University of Melbourne, Victoria, Australia

11:45～12:45 特別講演 2

同時通訳(E→J)

司会：**染矢 俊幸** 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

The ICD-11 as a part of a comprehensive global mental health strategy

○Geoffrey M. Reed
Department of Mental Health and Substance Abuse World Health Organization

13:50～15:50 委員会シンポジウム 15（ICD-11 委員会）
ICD-11 が世界の精神科医療へもたらす影響

司会：**丸田 敏雅** 聖徳大学
松本 ちひろ 日本精神神経学会情報センター

CS15-1 Innovations and changes in the ICD-11 classification of mental, behavioural and neurodevelopmental disorders

○Geoffrey M. Reed
Department of Mental Health and Substance Abuse World Health Organization

CS15-2 Major differences between the ICD-11 classification of mental and behavioural disorders and the DSM-5

○Michael B. First
Columbia University/New York State Psychiatric Institute, New York, NY, USA

CS15-3 Management of the implementation of ICD-11 MBND in WHO member states

○Wolfgang Gaebel[1,2]
[1]WHO Collaborating Centre on Quality Assurance and Empowerment in Mental Health LVR-Klinikum Düsseldorf
[2]Department of Psychiatry and Psychotherapy Medical Faculty Heinrich-Heine University Bergische Landstraße 2 D-40629 Düsseldorf Germany

〈コーディネーター〉 神庭 重信 九州大学
丸田 敏雅 聖徳大学
松本 ちひろ 日本精神神経学会情報センター

16:00～18:00 **委員会シンポジウム 19（国際委員会）** 同時通訳(E→J)

卒後教育サブスペシャルティ

司会：**武田 雅俊**　大阪河﨑リハビリテーション大学
岸本 年史　奈良県立医科大学

CS19-1 **A Survey and Perspective on the State of Psychiatry in America**

○Bruce Schwartz
Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Montefiore Medical center & Albert Einstein College of Medicine

CS19-2 **The increasing specialisation of psychiatry - what it means for the RANZCP training program and the profession of psychiatry**

○John Allan
The Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists

CS19-3 **The development and prospect of psychiatric sub-specialty training in Taiwan**

○Shih-Cheng Liao
National Taiwan University

CS19-4 **精神科研修におけるサブスペシャルティの考え方**

○武田 雅俊
大阪河﨑リハビリテーション大学

〈コーディネーター〉 秋山 剛　NTT東日本関東病院精神科精神神経科

6月21日（金） N会場（ホテル 3F 小会場）[孔雀]

8:30～9:30 一般演題（口演）38
精神科救急 1

司会：**鵜飼 聡** 和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室

2-038-1 人工知能技術を用いた、入院患者の自殺リスク評価の試み

○池田 伸
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

2-038-2 精神科救急病棟における来日外国人症例および、邦人帰国症例の検討

○中西 健太[1,2]、山中 浩嗣[1]
[1]千葉県精神科医療センター、[2]社会医療法人社団同仁会木更津病院

2-038-3 体幹部の静脈に血栓を形成した緊張病の 2 例

○安武 稜多郎、岡田 剛史、稲川 優多、福田 和仁、松本 健二、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

2-038-4 奈良県立医科大学で実施した自殺企図者に対する救急患者精神科継続支援の有効性の検証と地域支援の強化

○岡村 和哉[1]、小森 崇史[1]、隅田 江美[1]、大森 章代[1]、石岡 希望[1]、池原 実伸[1]、杉本 麻衣[2]、
岸本 年史[1]
[1]奈良県立医科大学精神医学講座、[2]奈良県立医科大学精神医療センター

2-038-5 千葉県精神科救急医療システムの実態調査（平成 30 年本調査）

○河岸 嶺将[1]、花岡 晋平[1]、深見 悟郎[1]、平田 豊明[1,2]
[1]千葉県精神科医療センター精神科、[2]医療法人学而会木村病院

9:30～10:30 一般演題（口演）50
精神科救急 2

司会：**杉山 直也** 公益財団法人復康会沼津中央病院

2-050-1 精神科救急病棟（スーパー救急病棟）における高齢措置入院者の傾向について

○正木 慶大、谷口 典男、釜江 和恵、須藤 良隆、田中 秀樹、大矢 健造、眞本 晶子、
石田 剛士、小嶋 美希、戸井 優樹、榎本 良広、田中 義、伊藤 久人、冨岡 幹央、泉本 高之、
尾池 芽有、松本 佐知子、柳川 宗司、更家 由梨、嶋 健作、白濱 嘉樹、三谷 政利、
東尾 康倫、戸山 茜、平野 真由子、百崎 詩子、田伏 薫、篠崎 和弘
公益財団法人浅香山病院精神科

2-050-2 警察官通報事例に対する行政の地域生活支援体制整備の検討 −川崎市の複数回通報事例をもとに

○小池 純子[1]、柴崎 聡子[2]、河野 稔明[1]、竹島 正[2]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部、[2]川崎市精神保健福祉センター

2-050-3 飛び降り自殺未遂後の身体的急性期治療の終了前に精神科病院へ転院を要する患者の臨床的特徴

○松本 光輔[1]、井藤 佳恵[1]、間 美枝子[2]
[1]東京都立松沢病院精神科、[2]東京都立松沢病院社会復帰支援室

2-050-4 自傷のおそれを伴って措置入院となった患者の実態調査

○大塚 達以[1]、稲垣 中[2]、瀬戸 秀文[3]、島田 達洋[4]、岩永 英之[5]、中西 清晃[6]、中村 仁[3]、
渡辺 純一[7]、横島 孝至[8]、奥野 栄太[9]、太田 順一郎[10]、吉住 昭[5]
[1]宮城県立精神医療センター、[2]青山学院大学、[3]長崎県精神医療センター、[4]栃木県立岡本台病院、
[5]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、[6]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
[7]公益財団法人井之頭病院、[8]公益財団法人復康会沼津中央病院、[9]独立行政法人国立病院機構琉球病院、
[10]岡山市こころの健康センター

2-050-5 **精神科救急システム利用患者の社会的背景の特徴**

○佐藤 裕一[1,2]、富岡 大[1,2]、近藤 周康[1,2]、井田 百合子[1,2]、沖野 和磨[1,2]、河口 良登[1,3]、
坂内 めぐみ[1,2]、山田 浩樹[2]、野崎 伸次[2]、稲本 淳子[2]
[1]昭和大学横浜市北部病院、[2]昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、[3]昭和大学横浜市北部病院看護部

10:40～12:40 シンポジウム 40
家族をベースにする治療をどう実臨床に生かすのか

司会：**岡田 俊**　名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科
山下 達久　からすま五条・やましたクリニック

S40-1 **青年期神経性やせ症のための家族をベースにする治療**

○鈴木 太
福井大学子どものこころの発達研究センター

S40-2 **成人の摂食障害に対する、外在化モデルに基づく治療と家族介入、その効果と限界**

○田中 聡
名古屋大学医学部附属病院精神科

S40-3 **“Parentectomy”の終焉と同級生の誕生**

○山下 達久
からすま五条・やましたクリニック精神科

S40-4 **どう実臨床に生かすのか**

○永田 利彦
壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 岡田 俊　名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科
永田 利彦　壱燈会なんば・ながたメンタルクリニック

13:50～15:50 シンポジウム 50
向精神薬による稀ではあるが重篤な副作用を避けるために（患者と医療者の双方のしあわせのために）

司会：**三國 雅彦**　社会医療法人函館博栄会函館渡辺病院
鈴木 映二　東北医科薬科大学医学部精神科学教室

S50-1 **向精神薬の重篤な副作用に対する薬剤師の取り組み**

○三輪 高市[1,2]、佐藤 光利[3]
[1]鈴鹿医療科学大学、[2]医療法人佐藤会弓削病院、[3]明治薬科大学

S50-2 **救急センターで遭遇する重篤な向精神薬の副作用を避けるために**

○上條 吉人
埼玉医科大学病院救急科

S50-3 **Psychiatric Internal Medicine の立場から、精神科薬物療法にともなう重篤な身体合併症を考える**

○中村 優[1]、長嶺 敬彦[2]
[1]更生会草津病院、[2]三光舎脳科学研究所

S50-4 **向精神薬による重症薬疹と通常の薬疹との鑑別とその対応**

○山田 和男
東北医科薬科大学病院精神科

S50-5 **薬物相互作用に起因する向精神薬の重篤な副作用**

○鈴木 映二
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

〈コーディネーター〉 鈴木 映二　東北医科薬科大学医学部精神科学教室
山田 和男　東北医科薬科大学医学部精神科学教室

16:00～18:00 シンポジウム 58
精神疾患へのスティグマ研究の現在：学校教育、市民啓発、社会の取り組みに向けて

司会：**中根 秀之**　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
安藤 俊太郎　東京大学医学部附属病院

S58-1 **映像による社会的接触およびインターネット自己学習におけるスティグマ是正の長期的効果：無作為化比較試験**

○山口 創生
国立・精神神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

S58-2 **精神疾患に対する生医科学的内容のビデオ講義によるスティグマ軽減効果の検証：無作為化比較試験**

○小塩 靖崇
国立・精神神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

S58-3 **INDIGO READ 研究の紹介と日本サイトでの実践**

○安藤 俊太郎[1]、山口 創生[2]、小川 亮[2]、小塩 靖崇[2]、市橋 香代[1,2]、近藤 伸介[1]、藤井 千代[2]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部付属病院精神神経科、[2]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S58-4 **統合失調症名称変更が一般市民のスティグマやマスメディア報道に与えた影響**

○小池 進介
東京大学大学院総合文化研究科附属進化認知科学センター

S58-5 **〔指定発言〕**

○中根 秀之
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

〈コーディネーター〉 小池 進介　東京大学大学院総合文化研究科附属進化認知科学センター
中根 秀之　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
安藤 俊太郎　東京大学医学部附属病院

6月21日（金） O会場（ホテル 4F 小会場）［朱鷺A］

8:30～10:10 **ワークショップ４**（ICD-11 委員会）
ICD-11 の最新情報：ストレス関連障害群、不安および強迫関連障害群、パーソナリティ障害群

司会：**秋山 剛** NTT東日本関東病院
丸田 敏雅 聖徳大学保健センター

WS4 〈講演者〉 前田 正治 福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座
中尾 智博 九州大学病院
松本 ちひろ 日本精神神経学会

〈コーディネーター〉 丸田 敏雅 聖徳大学保健センター
秋山 剛 NTT東日本関東病院
松本 ちひろ 日本精神神経学会

10:40～12:40 **シンポジウム 41**
「適応障害とその背景」–日本精神分析学会企画

司会：**木村 宏之** 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
池田 政俊 帝京大学文学部心理学科

S41-1 **適応障害 概論**
○木村 宏之
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

S41-2 **対象喪失と適応障害**
○鈴木 龍
鈴木龍クリニック

S41-3 **適応障害と自殺の関係について**
○張 賢徳
帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

S41-4 **働く場の不適応後成長という観点**
○白波瀬 丈一郎
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S41-5 **〔指定発言〕**
○福本 修
医療法人社団碧水会長谷川病院

〈コーディネーター〉 木村 宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

14:00～16:40 **ワークショップ 11**（精神保健に関する委員会）

複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ：自殺のハイリスク患者に対するアセスメントと問題解決アプローチ

※本ワークショップは事前にお申し込みされた方のみご参加可能です

司会：**河西 千秋**　札幌医科大学医学部神経精神医学講座
大塚 耕太郎　岩手医科大学神経精神科学講座

WS11

〈講演者〉
河西 千秋　札幌医科大学医学部神経精神医学講座
大塚 耕太郎　岩手医科大学神経精神科学講座
張 賢徳　帝京大学医学部附属溝口病院精神科
太刀川 弘和　筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

〈コーディネーター〉
河西 千秋　札幌医科大学医学部神経精神医学講座
大塚 耕太郎　岩手医科大学神経精神科学講座

6月21日（金） P会場（ホテル 4F 小会場）[朱鷺B]

8:30～10:30 **委員会シンポジウム 12**（倫理委員会）
症例報告における倫理的配慮～本人同意をめぐる課題

司会：**久住 一郎** 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室
加藤 忠史 理化学研究所脳神経科学研究センター

CS12-1 ガイドライン作成経緯と本人同意の例外事項に関する課題

○栗原（斉尾）千絵子
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所信頼性保証・監査室

CS12-2 精神医学研究における症例報告の重要性

○尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

CS12-3 症例報告における患者同意はなぜ必要か～当事者・家族の立場から～

○夏苅 郁子
やきつべの径診療所

CS12-4 症例報告における倫理的配慮～本人同意をめぐる課題（法律家の視点）

○木ノ元 直樹
木ノ元総合法律事務所

〈コーディネーター〉 久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

10:40～12:40 **委員会シンポジウム 14**（災害支援委員会）
人為災害、テロがメンタルヘルスに及ぼす影響：2020 年東京五輪に向けて考えるべきこと

司会：**大塚 耕太郎** 岩手医科大学医学部神経精神科学講座
重村 淳 防衛医科大学校医学教育部精神科学講座

CS14-1 テロリズムがメンタルヘルスに与える影響

○重村 淳[1]、高橋 晶[2,3]、小林 佑衣[1]、黒澤 美枝[1]、長峯 正典[4]、清水 邦夫[4]、吉野 相英[1]
[1]防衛医科大学校精神科学講座、[2]筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、
[3]筑波メディカルセンター病院精神科、[4]防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門

CS14-2 被災地のメンタルヘルスへの精神医学的介入

○大塚 耕太郎[1,2]、小泉 範高[1,2,3]、赤平 美津子[2,3]、酒井 明夫[2]
[1]岩手医科大学神経精神科学講座、[2]岩手県こころのケアセンター、[3]岩手医科大学災害・地域精神医学講座

CS14-3 テロ攻撃等による大規模集団被害後のメンタルヘルス活動における 4 つの課題

○飛鳥井 望
医療法人社団青山会青木病院精神科

CS14-4 海外での大規模緊急事態におけるメンタルヘルスケア

○鈴木 満
外務省診療所

CS14-5 〔指定発言〕

○高橋 晶
筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター地域・災害支援部/筑波メディカルセンター精神科

〈コーディネーター〉 高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター地域・災害支援部・室/筑波メディカルセンター精神科
重村 淳 防衛医科大学校医学教育部精神科学講座
大塚 耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座

13:50〜15:30 ワークショップ 10（小児精神医療委員会）
小児精神医療入門：新シリーズ(2)子どもが示す症状の多様性：その意味と疾患との関連について

司会：**松本 英夫** 東海大学医学部専門診療学系精神科学
鈴村 俊介 東京都立大塚病院

WS10 〈講演者〉
山下 洋 九州大学病院子どものこころの診療部
岩坂 英巳 ハートランドしぎさん
中土井 芳弘 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
大重 耕三 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〈コーディネーター〉 松本 英夫 東海大学医学部付属病院精神科

16:00〜18:00 ワークショップ 12
日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか？
※本ワークショップは事前にお申し込みされた方のみご参加可能です

司会：**渡邊 衡一郎** 杏林大学医学部付属病院
稲田 健 東京女子医科大学病院

WS12 〈講演者〉
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
山田 恒 兵庫医科大学
飯田 仁志 福岡大学
福本 健太郎 岩手医科大学
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
小松 浩 宮城県立精神医療センター
菊地 紗耶 東北大学
稲垣 貴彦 琵琶湖病院
大井 一高 金沢医科大学
木戸 幹雄 富山大学
中村 敏範 信州大学
今村 弥生 杏林大学精神神経科学教室
根本 清貴 筑波大学
村岡 寛之 東京女子医科大学医学部精神医学講座
長澤 達也 金沢医科大学

〈コーディネーター〉 橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部付属病院
稲田 健 東京女子医科大学病院

6月21日（金） Q会場（万代島ビル 6F）［会議室］

8:30～10:30 Fellowship Award Symposium 3
Case Vignette

Chairpersons：**Michael First** Columbia University / New York State Psychiatric Institute
Tomohiro Shirasaka Department of Psychiatry, Teine Keijinkai Hospital

FAS3-1 **Current situation and multimodal treatment of gaming disorder in Switzerland –A short overview**

○Michael Wallies
Psychiatric Clinic Clienia Littenheid of Thurgau, Switzerland

FAS3-2 **Internet Gaming Disorder：a worrying, controversial and emerging disorder**

○Óscar Soto
Department of Psychiatry, Vall d'Hebrón University Hospital, Spain

FAS3-3 **A review of internet gaming disorder in Thailand**

○Pavita Chongsuksiri
Buddhachinaraj Hospital, Thailand

FAS3-4 **How should we diagnosis and treat the Internet use disorder and gaming disorder ?**

○Shou Fukushima
Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Michinoo Hospital

〈Coordinator〉 Tomohiro Shirasaka：Department of Psychiatry, Teine Keijinkai Hospital

10:40～12:40 Fellowship Award Symposium 4
Case Vignette

Chairpersons：**Susumu Higuchi** National Hospital Organization Kurihama Medical and Addiction Center
Kumi Aoyama Yokohama city university, Department of child psychiatry

FAS4-1 **Gaming disorder in Belgium and Belgian perspectives on the situation of Patient A**

○Camille Noël[1,2]
[1]Department of Psychiatry, Saint-Luc University Hospital, Belgium、[2]Child and adolescent psychiatry hospital La Petite Maison ACIS, Belgium

FAS4-2 **Internet gaming disorder and internet-related problems in Singapore**

○Chau Sian Lim
Department of Psychological Medicine, Changi General Hospital, Singapore

FAS4-3 **A Neglected Disorder in the United States –Internet Gaming Disorder**

○Zijie Su
Maimonides Medical Center, USA

FAS4-4 **Current state and issues regarding gaming disorder in Japan**

○Nozomu Oya
Department of psychiatry, Kyoto Prefectural University of Medicine/Certified-NonProfit Organizatin Japan Young Psychiatrists Organization

〈Coordinator〉 Kumi Aoyama：Yokohama city university, Department of child psychiatry

13:50～15:50 Leaders Round Table（国際委員会）
アジア太平洋地域各国における精神科の多職種チーム医療について

Chairpersons：**岸本 年史** Japanese Society of Psychiatry and Neurology
秋山 剛 Japanese Society of Psychiatry and Neurology

[Speakers]
Bruce Schwartz American Psychiatric Association
Saul Levin American Psychiatric Association
John Allan The Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists
Andrew Peters The Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists
Shih-Cheng Liao Taiwanese Society of Psychiatry
西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
筒井 順子 東京女子医科大学医学部精神医学講座
秋山 剛 Japanese Society of Psychiatry and Neurology

〈Coordinator〉 秋山 剛 NTT東日本関東病院精神科精神神経科

16:00～18:00 シンポジウム 59
精神疾患における神経炎症の役割～バイオマーカー開発から病態解明まで

司会：**竹林 実** 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野

S59-1 **せん妄のエピジェネティクスと炎症性サイトカイン遺伝子における DNA メチル化解析**
○篠崎 元
University of Iowa Department of Psychiatry

S59-2 **うつ病における神経炎症の役割**
○岩田 正明
鳥取大学医学部精神行動医学分野

S59-3 **神経炎症抑制に着目した統合失調症の新規治療法開発**
○金沢 徹文
大阪医科大学神経精神医学教室

S59-4 **心因性疼痛における神経炎症の役割**
○朴 秀賢
神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

〈コーディネーター〉 朴 秀賢 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
篠崎 元 アイオワ大学精神科

6月21日（金） ポスター会場1（センター 2F）［エスプラナード］

12:50～13:38 一般演題（ポスター）30
統合失調症 14

司会：**菅原 典夫** 獨協医科大学精神神経医学講座

2-P30-1 **統合失調症入院例ケースビネットへの精神科医の抗精神病薬選択**

○宮田 量治[1]、三澤 史斉[1]、藤井 康男[1]、武田 俊彦[2]、内田 裕之[3]
[1]地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院精神科、[2]公益財団法人慈圭会慈圭病院、[3]慶應義塾大学病院

2-P30-2 **初回エピソード統合失調症における松果体体積減少**

○高橋 努[1]、中村 美保子[1]、笹林 大樹[1]、西川 祐美子[1]、高柳 陽一郎[1]、古市 厚志[1]、木戸 幹雄[1]、野口 京[2]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、[2]富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

2-P30-3 **統合失調型障害における松果体体積減少**

○高橋 努[1]、中村 美保子[1]、笹林 大樹[1]、西川 祐美子[1]、高柳 陽一郎[1]、古市 厚志[1]、木戸 幹雄[1]、野口 京[2]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、[2]富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

2-P30-4 ***KDM4C* 遺伝子における稀なバリアントと統合失調症および自閉スペクトラム症との関連**

○加藤 秀一、石塚 佳奈子、木村 大樹、久島 周、アレクシッチ ブランコ、尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

2-P30-5 **統合失調症患者における SETD1A 遺伝子のシーケンス**

○森川 亮、井桁 裕文、渡部 雄一郎、保谷 智史、澁谷 雅子、江川 純、染矢 俊幸
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P30-6 **維持透析を継続することができた過飲水を繰り返す統合失調症の 1 例**

○萩倉 祥一、萩倉 美奈子、藤田 潔
桶狭間病院藤田こころケアセンター精神科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）31
認知症 2

司会：**横山 裕一** 新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野

2-P31-1 **免疫療法が奏功した“treatable”DLB の 1 例**

○阿部 紀絵、千葉 悠平、戸代原 奈央、許 博陽、吉見 明香、須田 顕
横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門

2-P31-2 **意味性認知症と自閉症スペクトラムは似ているのか？ PARS 思春期・成人期得点を用いた検討**

○佐久田 静[1]、橋本 衛[1]、髙﨑 昭博[2]、小山 明日香[1]、福原 竜治[2]、石川 智久[2]、宮川 雄介[2]、日髙 洋介[1]、兼田 桂一郎[3]、鈴木 真希[4]、堀田 牧[5]、欠田 恭輔[5]、末廣 聖[5]、池田 学[5]、竹林 実[1]
[1]熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野、[2]熊本大学医学部附属病院神経精神科、
[3]財団法人杏仁会くまもと青明病院、[4]大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学寄附講座、
[5]大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

2-P31-3 **病初期にウェルニッケ脳症と診断されていたハンチントン病の一例**

○竹之下 慎太郎、寺田 整司、冨永 悟、山田 了士
岡山大学病院

2-P31-4 **多様な精神症状を呈し診断に苦慮した前頭側頭型認知症の一例**

○丸茂 晋平[1]、北條 彩[1]、河上 緒[2]、渋川 茉莉[3]、仙石 練平[2,3]、亀山 征史[4]、徳丸 阿耶[4]、村山 繁雄[2,3]、中村 満[1]
[1]成増厚生病院精神科、[2]東京都健康長寿医療センター研究所神経病理学研究、
[3]東京都健康長寿医療センター神経内科、[4]東京都健康長寿医療センター放射線診断科

2-P31-5 **認知症病棟におけるインシデント・アクシデント報告の特徴**

○北尾 淑惠、笠原 俊彦
医療法人社団葛野会木野崎病院

2-P31-6 **軽度認知障害（MCI）の人への補償運転指導とその後の経過～道路交通法改正以前の 74 例について～**

○森田 昌宏[1,2]、田中 晋[1,2]、田中 弘[2]、田中 政春[2]
[1]特定医療法人楽山会三島病院認知症疾患医療センター精神科、[2]特定医療法人楽山会三島病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）32
認知症 3

司会：**山内 繁**　大阪医科大学附属病院

2-P32-1 **精神科病床での入院治療が求められる認知症患者の行動・心理症状に関する前向き多施設共同調査**

○互 健二[1]、品川 俊一郎[1]、上村 直人[2]、繁信 和恵[4,6]、樫林 哲雄[5]、東 眞吾[3]、吉山 顕次[3]、池田 学[3]、繁田 雅弘[1]、數井 裕光[2]
[1]東京慈恵会医科大学精神医学講座、[2]高知大学神経精神科学教室、[3]大阪大学医学部附属病院神経科精神科、
[4]公益財団法人浅香山病院、[5]兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、
[6]大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学寄附講座

2-P32-2 **抗認知症薬の 6 ヶ月後の治療反応性はその後の転帰に影響するか**

○堀越 翔[1]、國井 泰人[2]、松本 純弥[1]、平尾 美枝子[3]、後藤 大介[4]、三浦 至[1]、矢部 博興[1]
[1]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、[2]福島県立医科大学会津医療センター附属病院、
[3]福島県厚生農業協同組合連合会高田厚生病院、[4]福島県精神保健福祉センター

2-P32-3 **認知症スクリーニングテストと MRI 画像統計解析所見を用いた非認知症群についての検討**

○山下 裕之[1,2,3]、森田 喜一郎[1,2]、小路 純央[1,2]、加藤 雄輔[1,2]、吉本 幸治[1,2]、佐藤 守[1,2]、大川 順司[1,2]、内村 直尚[1,2]
[1]久留米大学精神神経科、[2]久留米大学高次脳疾患研究所、[3]鎌田医院

2-P32-4 **早期より介入を行った若年性アルツハイマー型認知症の一例**

○有田 正知[1,2,4]、川尻 玲子[2]、渡邉 徹[3]、中村 令子[4]、有田 要[2]
[1]新潟大学医歯学総合病院精神科、[2]医療法人社団有心会有田病院、[3]大杉脳外科医院、[4]特別養護老人ホームくるま乃

2-P32-5 **生前アルツハイマー型認知症と診断されていた進行性核上性麻痺の剖検例**

○田中 弘[1]、田中 秀智[2]、清水 宏[2]、柿田 明美[2]、高橋 均[2]
[1]医療法人楽山会三島病院医局、[2]新潟大学医歯学総合病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）33
認知症 4

司会：**高江洲 義和**　杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P33-1 **Alzheimer 型認知症の BPSD と脳内 Dopamine 神経系の関連**

○宇土 仁木[1]、橋本 直樹[1]、中川 伸[2]、豊永 拓哉[3]、大柳 有加[1]、北川 寛[1]、成田 尚[1]、久住 一郎[1]
[1]北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、[2]山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、
[3]北海道大学大学院医学研究院放射線科学分野核医学教室

2-P33-2 **認知症初期集中支援チームと精神科医療の関わり**

○佐野 英孝、小林 定之、五十嵐 恵子、渡辺 宜子
白根緑ケ丘病院精神科

2-P33-3 **高齢者の認知機能検査と microRNA137 Variable Nucleotide tandem Repeat**

○宮内 雅利[1,2,3]、Alfredo Ramos Miguel[3,4]、Ryan Yan[3]、William Honer[3]
[1]医療法人誠心会神奈川病院、[2]公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科、[3]Department Psychiatry, University of British Columbia、[4]Department of Pharmacology, University of the Basque Country

2-P33-4 **地域住民健診における認知機能低下と生活習慣病の身体指標の横断的関連性**

○武用 百子[1]、辻 富基美[2]、高橋 隼[2]、山田 信一[2]、服部 園美[3]、上松 右二[3]、鵜飼 聡[2]
[1]和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター、[2]和歌山県立医科大学神経精神医学教室、
[3]和歌山県立医科大学保健看護学部

2-P33-5 **アルツハイマー病に対する免疫グロブリン療法の有用性の検討：系統的レビューとメタ解析**

○奥谷 理[1]、松永 慎史[1,2]、生田 敏一[3]、大矢 一登[1]、佐久間 健二[1]、野村 郁雄[1]、岸 太郎[1]、
岩田 仲生[1]
[1]藤田医科大学病院精神神経科学、[2]藤田医科大学病院認知症・高齢診療科、
[3]ミシシッピ大学応用科学部コミュニケーション障害学科

2-P33-6 **亜急性に認知機能低下を呈した深部脳静脈血栓症の 1 例**

○下出 崇輝[1]、上村 永[1]、村田 佳子[1]、松尾 幸治[1]、太田 敏男[2]
[1]埼玉医科大学病院神経精神科、[2]さやま総合クリニック

12:50～13:38 一般演題（ポスター）34
脳器質性症状性精神障害 1

司会：**坪井 貴嗣**　杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P34-1 **著しい精神運動興奮により措置入院に至った抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例**

○湯川 尊行[1]、小澤 鉄太郎[2]、寺島 健史[2]、伊藤 岳[2,4]、渡部 雄一郎[1,3]、信田 慶太[1,5]、菊地 佑[1,6]、
染矢 俊幸[3]
[1]魚沼基幹病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター神経内科、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[4]新潟県立新発田病院神経内科、[5]大島病院、[6]福島県立矢吹病院

2-P34-2 **外傷性頭部損傷後にハイパーモラル症候群を呈した 1 例**

○船越 得一、宮崎 大輔、瀬戸 秀文、山本 智一、高橋 克朗
長崎県精神医療センター

2-P34-3 **熱中症後に海馬の異常所見と記憶障害を認めた器質性健忘症候群の一例 –1 年後の経過を含めて**

○古市 厚志[1]、中田 翔太郎[1]、坂田 香[1]、吉野 修[2]、山口 幸志[1]、木戸 幹雄[1]、高柳 陽一郎[1]、
高橋 努[1]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学医学部附属病院神経精神科、[2]富山県リハビリテーション病院・こども支援センターリハビリ科

2-P34-4 **間歇型一酸化炭素中毒に対して長期間高圧酸素療法を施行した 2 症例 –経時的な認知機能検査結果も併せて**

○三瀬 耕平、若山 由賀里、車地 暁生
東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

2-P34-5 **プラダー・ウイリー症候群（思春期）の心理行動症状と感覚プロフィールについて**

○齊間 草平[1]、窪田 悠希[1,3]、高橋 麻美[1,2]、石井 惇史[1,4]、尾形 広行[1]、佐山 真之[1]、村上 信之[5]、
大戸 佑二[5]、永井 敏郎[6]、井原 裕[1]
[1]獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科、[2]医療法人至信会池沢神経科病院、[3]医療法人社団啓心会岡田病院、
[4]独立行政法人国立病院機構花巻病院、[5]獨協医科大学埼玉医療センター小児科、[6]中川の郷療育センター

2-P34-6 **ステロイドパルス療法とリハビリにより改善した間歇型一酸化炭素中毒の 1 例**

○木戸 幹雄[1]、古市 厚志[1]、山口 幸司[1]、西川 祐美子[1]、陸田 典和[1]、坂田 香[2]、赤﨑 有紀子[2]、
西山 志満子[1]、高柳 陽一郎[1]、高橋 努[1]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部精神神経医学教室神経精神科、[2]富山大学附属病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）35
脳器質性症状性精神障害 2

司会：**大河内 智**　藤田医科大学精神神経学

2-P35-1 **千葉大学医学部附属病院におけるせん妄予防のストラテジー～日本語版 4A's Test(4AT-J)を用いて～**

○長谷川 直[1]、瀬尾 智美[1]、須藤 知子[1]、横田 久美[1]、村中 晃[2]、宮崎 尚[3]、酒井 郁子[4]
[1]千葉大学医学部附属病院、[2]医療法人淳英会おゆみの中央病院、[3]こころの杜クリニック、
[4]千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター

2-P35-2 **睡眠薬としてのスボレキサント導入前後におけるせん妄コンサルテーション件数の推移**

○立花 昌子[1,2]、稲田 俊也[2]、市田 勝[1]、兒嶋 しほり[1]、新井 孝文[3]、内藤 桂子[4]、尾崎 紀夫[2]
[1]名古屋掖済会病院精神科、[2]名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、[3]名古屋掖済会病院薬剤部、
[4]名古屋掖済会病院医療安全対策室

2-P35-3 **発症後 3 年で発作間欠期に精神病症状を呈した右前頭葉神経膠腫に併発した症候性てんかんの一例**

○石川 英一[1]、白石 渉[2]、秦 暢宏[3]、大橋 綾子[4]、平野 羊嗣[4]、神庭 重信[4]
[1]九州大学病院精神科神経科、[2]九州大学大学院医学研究院神経内科学、[3]九州大学大学院医学研究院脳神経外科学、
[4]九州大学大学院医学研究院精神病態医学

2-P35-4 **くも膜下出血に対する前交通動脈クリッピング術後に強迫症状を呈した一例**

○宮下 真子、橘 輝、三上 剛明、保谷 智史、染矢 俊幸
新潟大学医歯学総合病院精神科

2-P35-5 **一過性の失行を認めた高マンガン血症・高アンモニア血症の一例**

○稲山 靖弘、渡辺 浩年
渡辺病院医局

12:50～13:38 一般演題（ポスター）36
脳器質性症状性精神障害 3

司会：**小林 良太**　山形大学医学部精神医学講座

2-P36-1 **ステロイド反応性の認知機能障害を呈し、神経サルコイドーシスが疑われた一例**

○新堀 隼也[1]、石川 智久[1]、田中 響[1]、菅原 裕子[1]、髙﨑 昭博[1]、橋本 衛[1,2]、竹林 実[1,2]
[1]熊本大学医学部附属病院神経精神科、[2]熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野

2-P36-2 **抗 NMDA 受容体脳炎との鑑別が問題になった器質性解離性障害の 1 例；症例アンナ O.との比較**

○大賀 健太郎[1,2]、根本 安人[3]、奥平 智之[3]
[1]日本大学医学部精神医学系精神医学分野、[2]東雲メンタルヘルス研究室、[3]医療法人山口病院

2-P36-3 **妊娠経過中に躁症状や精神病症状を呈し、内分泌疾患が判明するまで診断に苦慮した 1 症例**

○蓬莱 政[1]、青山 慎介[1]、大塚 郁夫[1]、新名 尚史[1]、森脇 光信[2]、倉持 裕子[2]、曽良 一郎[1]
[1]神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、[2]神戸大学医学部附属病院看護部

2-P36-4 **無症候性に進行し躁症状で発見された神経梅毒の一例**

○井上 絵美子[1]、谷 卓[2]、小澤 鉄太郎[2]、寺島 健史[2]、湯川 尊行[1]、有波 浩[3]、恩田 啓伍[1]、染矢 俊幸[3]
[1]魚沼基幹病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター神経内科、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P36-5 **産後うつ病として治療されていたクッシング症候群の 1 例**

○湯川 尊行[1]、小松 健[2]、小原 伸雅[2]、土田 雅史[3]、若杉 正嗣[4]、井上 絵美子[1]、有波 浩[1,5]、恩田 啓伍[1]、染矢 俊幸[5]
[1]魚沼基幹病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター内分泌・代謝内科、
[3]新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター腎臓内科、[4]魚沼基幹病院整形外科、
[5]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P36-6 **運動ニューロン疾患を伴う前頭側頭葉変性症におけるドパミン神経機能異常 –DAT-SPECT を用いた検討–**

○小林 良太[1]、川勝 忍[2]、林 博史[1]、大谷 浩一[1]
[1]山形大学医学部精神医学講座、[2]福島県立医大会津医療センター精神医学講座

6月21日（金） ポスター会場2（センター 2F）［メインホールAB前ホワイエ］

12:50～13:38 一般演題（ポスター）37
アルコール・薬物依存、行動嗜癖

司会：**合川 勇三** 埼玉県立精神医療センター

2-P37-1 **幼少からのゲームの習慣的使用はその後の依存的使用と関連する**

○中山 秀紀、松﨑 尊信、三原 聡子、北湯口 孝、前園 真毅、橋本 琢磨、樋口 進
独立行政法人国立病院機構久里浜アルコール症センター

2-P37-2 **Bupropion の過量服薬により中毒症状を呈した境界性パーソナリティー障害の一例**

○高山 敏樹、黄田 常嘉、西紋 昌平、柴田 展人、大沼 徹、新井 平伊
順天堂大学医学部精神医学教室

2-P37-3 **大学病院における嗜癖障害患者に対する集団療法の特徴（北里大学東病院の場合）**

○朝倉 崇文[1,2]、常岡 俊昭[3]、寺島 玲奈[1]、緒方 慶三郎[1]、蒲生 裕司[4]、大石 智[1]、松本 俊彦[5]、宮岡 等[1]
[1]北里大学東病院精神神経科、[2]北里大学大学院医療系研究科、[3]昭和大学附属烏山病院、[4]こころのホスピタル町田、[5]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-P37-4 **大学病院における嗜癖障害患者に対する集団療法の特徴（昭和大学附属烏山病院の場合）**

○常岡 俊昭[1]、朝倉 崇文[2]、小野 英里子[1]、横山 佐知子[1]、川合 秀明[1]、岩見 有里子[1]、長塚 雄大[1]、山田 真理[1]、松本 俊彦[3]、岩波 明[1]
[1]昭和大学附属烏山病院医学部精神医学講座、[2]北里大学病院精神神経科、[3]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-P37-5 **エナジードリンクの長期飲用を中止直後に統合失調症様症状が出現した 1 例**

○恩田 啓伍[1]、湯川 尊行[1]、井上 絵美子[1]、染矢 俊幸[2]
[1]新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院、[2]新潟大学医歯学総合病院

2-P37-6 **3D-SSP 法を用いたアルコール性認知症の特異的脳血流低下部位同定の試み**

○白坂 知彦[1]、常田 深雪[1]、木村 永一[1]、齋藤 利和[2]
[1]手稲渓仁会病院精神保健科、[2]北仁会幹メンタルクリニック

12:50～13:38 一般演題（ポスター）38
老年期精神障害

司会：**小林 直人** 医療法人湖山荘あずま通りクリニック

2-P38-1 **アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症における嗅覚識別テストの特性**

○小路 純央[1,2]、森田 喜一郎[1,2]、山下 裕之[1,2]、加藤 雄輔[1,2]、吉本 幸治[1,2]、佐藤 守[1,2]、柳本 寛子[1]、内村 直尚[1,2]
[1]久留米大学医学部神経精神医学講座、[2]久留米大学高次脳疾患研究所

2-P38-2 **ブロナンセリンが著効した皮膚寄生虫妄想の 1 例**

○萩野谷 真人
医療法人圭愛会日立梅ヶ丘病院精神神経科

2-P38-3 **双極性障害で加療中、緩徐に進行する認知機能低下が出現し CADASIL が疑われた 1 例**

○上馬塲 伸始[1]、大竹 裕美[1]、大塚 道人[1]、野崎 洋明[2]、牧野 邦比古[2]
[1]新潟県立新発田病院精神科、[2]新潟県立新発田病院神経内科

2-P38-4 **認知機能トレーニングおける運動習慣、処理速度と実行機能の関連**

○根本 清貴[1]、レボウイッツ アダム[2]、山田 典子[3]、臼庭 等[3]、田村 昌士[3]、石川 和宏[4]、所 圭吾[5]、新井 哲明[1]
[1]筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、[2]自治医科大学総合教育部門、[3]茨城県立こころの医療センター、[4]医療法人社団八峰会池田病院、[5]Rise total support

2-P38-5 **記憶障害とパーキンソニズムで発症し幻視、喚語困難、被害・嫉妬妄想を呈した 83 歳女性の一剖検例**

○関口 裕孝[1,2]、入谷 修司[3]、鳥居 洋太[3]、吉田 眞理[4]、藤田 潔[1]
[1]桶狭間病院藤田こころケアセンター、[2]NPO法人脳神経オーダーメード医療研究センター、[3]名古屋大学医学部付属病院、[4]愛知医科大学病院

2-P38-6 **認知症補助診断としてのポケット嗅覚識別テストの有用性の検討：その 2**

○柳本 寛子[1]、小路 純央[1,2]、山下 裕之[1,2]、加藤 雄輔[1,2,4]、吉本 幸治[1,2]、佐藤 守[1,2]、鬻久 裕貴[2]、内村 直尚[1,2]、森田 喜一郎[2,3]
[1]久留米大学医学部神経精神医学講座、[2]久留米大学高次脳機能疾患研究所、[3]特定医療法人社団相和会中村病院、[4]医療法人雄仁会加藤病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）39
コンサルテーション・リエゾン 1

司会：**大塚 道人**　新潟県立新発田病院

2-P39-1 **睡眠薬・抗不安薬の多剤併用の要因に関する研究：身体合併症の関与**

○酒井 要、金井 裕彦、中村 英樹、山内 茜、西嶋 長
長浜赤十字病院

2-P39-2 **日本・ベナン精神科医療情報交換会の報告**

○増田 将人[1]、吉川 潔[2]、ガンスー マグロワール[3]、アヤイアイ ガルベール[3]、木下 利彦[4]、岸本 年史[5]、川嵜 弘詔[1]
[1]福岡大学医学部附属病院精神医学教室、[2]在ベナン日本国大使館、[3]ベナン国立大学精神科病院、[4]関西医科大学精神神経科、[5]奈良県立医科大学精神医学講座

2-P39-3 **救急医療における心理職へのニーズの検討～東北大学病院高度救命救急センターでの臨床心理士の活動から～**

○中川 高[1,2]、富田 博秋[1,2,3]、野村 亮介[4]、井上 昌子[4]、町田 雄一郎[5]、和田 努[6]、佐久間 篤[3]、久志本 成樹[1,4]
[1]東北大学大学院医学系研究科、[2]東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門、[3]東北大学病院精神科、[4]東北大学病院高度救命救急センター、[5]東北大学病院地域医療連携センター、[6]仙台市立病院精神科

2-P39-4 **救命救急センターでのコンサルテーション・リエゾン精神科診療における高齢患者に関する検討**

○渡邊 公聡[1]、赤羽 晃寿[1]、矢倉 朱緒[1]、松村 謙一[1]、池淵 恵美[1,2]
[1]帝京大学医学部精神神経科学講座、[2]帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

2-P39-5 **救急入院となった心不全患者におけるせん妄 –精神科リエゾン活動による早期介入–**

○和田 健[1]、板垣 圭[1]、増田 慶一[1]、山下 理英子[1]、石川 亮[1]、倉田 明子[2]、岩本 崇志[3]
[1]広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科、[2]広島大学病院精神科緩和ケアチーム、[3]広島中央通りメンタルクリニック

2-P39-6 **身体合併症のために当科へ入院を要した症例の検討**

○小池 香、瀬戸 愛生、小川 道、山﨑 あずさ、竹内 澄子、松田 久実、赤田 弘一、齋賀 孝久、佐藤 茂樹
成田赤十字病院精神神経科

12:50〜13:38　一般演題（ポスター）40
コンサルテーション・リエゾン2

司会：**菊池 結花**　秋田大学医学部附属病院精神科

2-P40-1　高齢患者の術後せん妄発症に対する術前認知機能障害・不安の影響について

○金尾 亮[1]、森田 幸代[1,2]、角 幸頼[1]、吉村 篤[1]、飯田 洋也[3]、角谷 寛[4]、清水 智治[3]、谷 眞至[3]、山田 尚登[1,5]
[1]滋賀医科大学精神医学講座、[2]滋賀医科大学腫瘍センター、[3]滋賀医科大学外科学講座、
[4]滋賀医科大学睡眠行動医学講座、[5]社会医療法人杏嶺会上林記念病院

2-P40-2　佐賀大学医学部附属病院におけるアセナピンの使用経験

○村川 徹
佐賀大学医学部附属病院精神神経科

2-P40-3　造血細胞移植患者のストレスコーピングと無菌室入室中の精神症状との関連について

○伊丹 寛二[1]、須藤 武司[1]、牧山 篤[1]、渡辺 俊太朗[1]、高橋 有記[1]、前原 瑞樹[1]、赤間 史明[1]、矢野 広[1,2]、大西 雄一[1]、鬼塚 真仁[3]、三上 克央[1]、松本 英夫[1]、山本 賢司[1]
[1]東海大学医学部専門診療学系精神科学、[2]東海大学医学部専門診療学系緩和医療学、
[3]東海大学医学部内科学系血液・腫瘍学

2-P40-4　流産・死産によるグリーフプロセスに影響を及ぼす心理社会的因子の検討

○岸本 真希子、立花 良之
国立成育医療研究センター乳幼児メンタルヘルス診療科

2-P40-5　造血細胞移植患者の精神症状と退院後の QOL について

○牧山 篤[1]、須藤 武司[1]、伊丹 寛二[1]、柴崎 文太[1]、土屋 博基[1]、前原 瑞樹[1]、赤間 史明[1]、矢野 広[3]、大西 雄一[1]、鬼塚 真仁[2]、三上 克央[1]、松本 英夫[1]、山本 賢司[1]
[1]東海大学医学部付属病院専門診療学系精神学科、[2]東海大学医学部付属病院内科学系血液・腫瘍内科、
[3]東海大学医学部付属病院医学部緩和ケア科

12:50〜13:38　一般演題（ポスター）41
社会精神医学または多文化精神医学

司会：**桂川 修一**　東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

2-P41-1　統合失調症における妄想の性別的特性

○植村 智子[1]、井上 由美子[1,3]、山田 和男[4]、菊池 健[1]、神庭 重信[2]
[1]財団法人井之頭病院精神科、[2]九州大学病院、[3]新百合ケ丘スマイルメンタルクリニック、[4]東北医科薬科大学病院

2-P41-2　雲仙普賢岳噴火災害 25 年後調査：ストレス障害の長期経過と心的外傷後成長（PTG）

○木下 裕久[1]、中根 秀之[2]、太田 保之[6]、野中 俊輔[3]、森本 芳郎[3]、松坂 雄亮[3]、金替 伸治[4]、倉田 青弥[3]、中野 健[1]、野畑 宏之[1]、山口 尚宏[3]、本田 純久[5]、今村 明[4]、小澤 寛樹[3]
[1]長崎大学病院精神科神経科、[2]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リハビリテーション学科、
[3]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学講座精神神経科学、
[4]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学地域連携児童思春期精神医学診療講座、
[5]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学科看護学専攻、[6]西九州大学作業療法学科

2-P41-3　わが国の DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の現状と課題〜裁判訴訟判例の検討〜

○森下 順子、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

2-P41-4　ひきこもり当事者が講師として参加する集団支援

○井川 大輔[1,2]、金谷 尚佳[1]、岩田 光宏[3]
[1]堺市こころの健康センター、[2]奈良県立医科大学精神医学講座、[3]堺市障害者更生相談所

2-P41-5 **WHODAS2.0 による関西医科大学総合医療センター精神科病棟の後方視的観察**

○青木 宣篤、西田 圭一郎、越川 陽介、木下 利彦
関西医科大学総合医療センター

2-P41-6 **東日本大震災被災地における中長期的な心理社会的支援の実態と課題**

○瀬戸 萌[1,2,3]、富田 博秋[1,2,3,6]、根本 晴美[2]、小林 奈津子[3]、金 吉晴[4,5]
[1]東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野、[2]東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、
[3]東北大学病院精神科、[4]国立精神・神経医療研究センター成人精神保健福祉部、
[5]国立精神・神経医療研究センターストレス災害時こころの情報支援センター、
[6]東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

6月21日（金） ポスター会場3（センター 2F）［201前ホワイエ］

12:50～13:38 **一般演題（ポスター）42**
統合失調症 15

司会：**吉益 晴夫** 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック

2-P42-1 **意思決定支援により直腸癌の手術同意に至った統合失調症の 1 例**
○齊藤 隆晴、古市 厚志、関 有理沙、樋口 悠子、高柳 陽一郎、高橋 努、鈴木 道雄
富山大学付属病院神経精神科

2-P42-2 **高用量のクロザピンに加えバルプロ酸による増強療法を導入し退院可能となった治療抵抗性統合失調症の一例**
○池水 結輝、小吉 伸治、金 悠七、山本 千尋、焼田 まどか、町澤 暁、髙瀬 正幸、木村 敦史、新津 富央、石川 雅智、伊豫 雅臣
千葉大学医学部付属病院精神神経科

2-P42-3 **遅発性ジスキネジアがアリピプラゾールで軽快した一例**
○大久保 瑠璃、福山 孝治、岡田 元宏
三重大学医学部附属病院精神神経科

2-P42-4 **地方総合病院における統合失調症患者の死因調査**
○玉置 敦之[1,2]、辻 富基美[2]、上野 半兵衛[1]、鵜飼 聡[2]
[1]国保野上厚生総合病院神経精神科、[2]和歌山県立医科大学神経精神医学教室

2-P42-5 **統合失調症圏の患者に対する精神科リエゾン診療の現状と課題**
○前田 佑樹、大橋 綾子、磯村 周一、神庭 重信、平野 羊嗣、鬼塚 俊明
九州大学病院

6月21日（金） ポスター会場4（センター 3F）［301・302前ホワイエ］

12:50～13:38 一般演題（ポスター）43
脳器質性症状性精神障害 4

司会：**井上 眞**　やまと精神医療センター

2-P43-1 **当院における身体科入院患者のせん妄における薬物療法の比較検討**

○大迫 鑑顕[1,2]、林 果林[1,3]、中川 萌以[1]、関 昭宏[1]、大熊 孝裕[1]、倉田 勉[1]、橋本 佐[1,2]、
大掛 真太郎[1]、鈴木 均[1]、石毛 稔[1]、菊池 周一[1]
[1]袖ヶ浦さつき台病院精神科、[2]千葉大学大学院医学研究院精神医学教室、
[3]東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室

2-P43-2 **ハンチントン病に伴う精神症状・行動障害の後方視的研究**

○永倉 暁人[1]、河上 緒[1,2]、梅田 健太郎[1]、今井 淳司[1]、齋藤 正彦[1]
[1]東京都立松沢病院精神科、[2]東京都健康長寿医療センター

2-P43-3 **悪性腫瘍の経過中に辺縁系脳炎の発症が疑われた症例**

○馬越 秋瀬[1]、筒井 幸[1]、石井 大介[2]、柴田 憲一[3]、神林 崇[1]、三島 和夫[1]
[1]秋田大学医学部付属病院、[2]平鹿総合病院消化器外科、[3]平鹿総合病院脳神経外科

2-P43-4 **間歇型一酸化炭素中毒にアマンタジンが奏功した 1 例**

○中野 智介、鈴木 大、元村 英史、城山 隆、福山 孝治、松本 竜介、加藤 遼、岡田 元宏
三重大病院精神科神経科

2-P43-5 **妊娠中に精神症状を呈し、急性間欠性ポルフィリン症が疑われた 1 例**

○坂上 仁[1]、横山 裕一[1]、折目 直樹[1]、恩田 啓伍[1]、竹内 真理[2]、佐藤 隆明[2]、福武 嶺一[2]、
金子 正儀[2]、堀内 綾乃[3]、生野 寿史[3]、高桑 好一[3]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学医歯学総合病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院代謝内分泌内科、[3]新潟大学医歯学総合病院産科婦人科

2-P43-6 **慢性期に出現し被疑薬中止により改善した薬剤性せん妄 2 例の検討**

○梁取 慧、牧田 泉紀、田井 健、矢花 孝文
医療法人財団東京勤労者医療会みさと協立病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）44
ECT・ニューロモデュレーション 1

司会：**針間 博彦**　東京都立松沢病院精神科

2-P44-1 **ECT における有効けいれん発作を包括的に評価する Seizure qualiy categories を用いた後方視的研究**

○青木 宣篤、嶽北 佳輝、木下 利彦
関西医科大学精神神経科

2-P44-2 **自閉スペクトラム症に合併した精神病症状に対して電気けいれん療法が有効であった 4 例**

○藤巻 元、油田 直弥、福元 仁、久我 佳子、三好 紀子、岩永 英之、橋本 学
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

2-P44-3 **妊娠後期に修正型電気けいれん療法を施行し経腟分娩した、統合失調感情障害の 1 例**

○藤井 倫太郎、古澤 隆太朗、新開 隆弘、吉村 玲児
産業医科大学病院精神科

2-P44-4 **治療抵抗性統合失調症に対する電気けいれん療法とクロザピンの併用療法**

○陣門 洋平、深水 泰宏、橋本 学、久我 佳子、森松 友佳子、福山 順子、岩永 英之、
橋本 喜次郎
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

2-P44-5 **ラコサミドを併用し m-ECT を施行したカタトニア症候群の一例**

○長田 亮太[1]、美谷島 真理子[1]、荻原 朋美[2]、鷲塚 伸介[1,2]
[1]信州大学医学部付属病院精神医学教室、[2]信州大学医学部地域精神医療学講座

6月21日（金） ポスター会場5（センター 4F）［国際会議室前ホワイエ］

12:50～13:38 一般演題（ポスター）45
睡眠障害・その他

司会：**金沢 徹文** 大阪医科大学神経精神医学教室

2-P45-1 **夜型傾向は直接ではなく睡眠の問題を介して学生のうつ症状を引き起こす**

○志村 哲祥[1,2]、井上 猛[1]
[1]東京医科大学病院、[2]医療法人壽鶴会菅野病院

2-P45-2 **睡眠中の体動に伴う急激な心拍数の変化について**

○中島 亨[1]、神田 優太[2]、高江洲 義和[2]
[1]杏林大学保健学部臨床心理学科、[2]杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P45-3 **一過性に統合失調症様症状を呈した非 24 時間睡眠覚醒症候群の一症例**

○坂本 隆行
三交病院精神科

2-P45-4 **閉塞性睡眠時無呼吸に対する質問紙を用いたスクリーニングに関する研究**

○山本 真太郎[1]、北島 剛司[1]、渡邊 晶子[1]、廣瀬 真里奈[1]、藤田 志保[2]、岩田 仲生[1]
[1]藤田医科大学病院精神科、[2]藤田医科大学病院臨床検査部

2-P45-5 **血清 BDNF 濃度と睡眠習慣の関連性：若年健常成人における性差について**

○斎藤 かおり、降旗 隆二、鈴木 正泰、高橋 栄、内山 真
日本大学医学部附属板橋病院精神科

2-P45-6 **エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の妊娠中期における最適なカットオフ得点についての検討**

○臼田 謙太郎[1,2]、西 大輔[1,2,3]、岡﨑 絵美[1]、牧野 みゆき[4]、佐野 養[2]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、[2]戸田中央産院、
[3]東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野/精神看護学分野、
[4]国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター

12:50～13:38 一般演題（ポスター）46
児童・思春期精神障害および知的障害 2

司会：**岡田 俊** 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

2-P46-1 **長崎県佐世保市における学童の日常生活と潜在的うつ兆候についての研究**

○今村 弥生[1]、高江洲 義和[1]、苅田 香苗[2]、本田 純久[3]、渡邊 衡一郎[1]、小澤 寛樹[4]
[1]杏林大学医学部精神神経科学教室、[2]杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室、
[3]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科看護学分野、[4]長崎大学病院精神科神経科

2-P46-2 **日本におけるメンタルヘルスリテラシーの向上をめざして～IACAPAP TEXTBOOK 翻訳の取り組み～**

○稲垣 貴彦[1,2]、岡田 俊[1,4]、中林 孝夫[1,5]、福地 成[1,6]、上野 千穂[1,7]、館農 勝[1,8]、藤田 純一[1,9]、
小野 善郎[1,3]
[1]IACAPAPテキストブック翻訳委員会、[2]医療法人明和会琵琶湖病院、[3]和歌山県精神保健福祉センター、
[4]名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科、[5]長浜赤十字病院精神神経科部、[6]みやぎ心のケアセンター、
[7]京都市児童福祉センター診療所、[8]特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院、
[9]公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科

2-P46-3 **小児 ADHD 患者におけるアトモキセチン投与量と血中濃度の関係性**

○吉永 清宏[1]、杉本 篤言[2]、鈴木 雄太郎[3,4]、折目 直樹[3]、林 剛丞[1]、小野 信[2]、須貝 拓朗[3]、
江川 純[3]、井上 義政[5]、染矢 俊幸[3]
[1]新潟県立精神医療センター精神科、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[4]敬愛会末広橋病院、[5]獨協医科大学精神神経医学講座

2-P46-4 **発達障害としての治療が有効であった情緒、行動の問題を呈した Prader-Willi 症候群の女児の 1 例**

○熊代 奈津子[1,2]、野村 健介[1]
[1]島田療育センター、[2]医療法人社団東京愛成会高月病院

2-P46-5 **自閉スペクトラム症罹患同胞対 3 ペアのエクソーム解析**

○澁谷 雅子、渡部 雄一郎、保谷 智史、森川 亮、江川 純、杉本 篤言、井桁 裕文、林 剛丞、染矢 俊幸
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P46-6 **児童精神科初診患者における不安症状に関する診断横断的調査**

○岡 琢哉、荻野 和雄、吉村 桃、横山 貴和子、岡田 優、大倉 勇史
東京都立小児総合医療センター

12:50～13:38 一般演題（ポスター）47
児童・思春期精神障害および知的障害 3

司会：**齊藤 卓弥**　北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

2-P47-1 **発達障害者の併存症と治療上の問題点**

○本田 教一、菅野 智美、志賀 忠夫、藤井 千太、田子 久夫
公益財団法人磐城済世会舞子浜病院医局

2-P47-2 **乳幼児健康診査に並行した半構造化行動観察（SACS-J）による自閉スペクトラム症診断の予測妥当性**

○上原 徹[1]、奥野 みどり[2]
[1]高崎健康福祉大学大学院・保健福祉学専攻、[2]日本医療科学大学保健医療学部

2-P47-3 **依存の治療における治療関係の重要性**

○青山 雅子
佐渇荘

2-P47-4 **成人患者の課題遂行中の前頭前皮質活動性と ADHD 症状の関連**

○杉本 篤言[1]、鈴木 雄太郎[2,3]、吉永 清宏[4]、折目 直樹[2]、林 剛丞[4]、小野 信[1]、須貝 拓朗[5]、江川 純[5]、染矢 俊幸[5]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座、[2]新潟大学医歯学総合病院精神科、[3]敬愛会末広橋病院、[4]新潟県立精神医療センター精神科、[5]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P47-5 **Sluggish Cognitive Tempo の併存による不適応と考えられた発達障害の学生の 3 事例**

○大賀 健太郎[1,2]、横瀬 宏美[1]、今野 裕之[3]、室村 絵里香[4]、渡辺 登[5]、宮尾 益知[6]
[1]日本大学医学部精神医学系精神医学分野、[2]東雲メンタルヘルス研究室、[3]ブレインケアクリニック、[4]医療法人山口病院、[5]赤坂診療所、[6]どんぐり発達クリニック

2-P47-6 **DSM-5 診断における自閉症スペクトラム指数日本語版（AQ-J）の有用性について**

○吉永 清宏[1]、江川 純[2]、林 剛丞[1,2]、杉本 篤言[2]、新藤 雅延[3]、橘 輝[2]、北村 秀明[4]、染矢 俊幸[2]
[1]新潟県立精神医療センター精神科、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[3]新潟市民病院精神科、[4]医療法人水明会佐渇荘

12:50～13:38 一般演題（ポスター）48
地域精神医療 1

司会：**市来 真彦**　東京医科大学精神医学分野

2-P48-1　院内死亡の高齢化 –単科精神科病院の死亡診断書調査–

○齋藤 暢是[1]、佐藤 謙伍[2]、小林 聡幸[1]、須田 史朗[1]
[1]自治医科大学附属病院、[2]広域紋別病院総合診療科

2-P48-2　東日本大震災と熊本地震の教訓に基づく精神科病院の災害対策の改善点

○富田 博秋[1]、山口 喜久雄[2]、富田 正徳[2]、矢田部 裕介[2]、犬飼 邦明[3]、相澤 明憲[4]、伴 亨[5]、
高階 憲之[6]、岩舘 敏晴[6]、菅野 庸[6]、渡部 康[7]、千葉 潜[8]、松田 ひろし[9]
[1]東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、[2]熊本県精神保健福祉センター、[3]社会医療法人ましき会益城病院、
[4]特定医療法人佐藤会弓削病院、[5]平和台病院、[6]一般社団法人宮城県精神科病院協会、[7]一般財団法人桜ヶ丘病院、
[8]医療法人青仁会青南病院、[9]医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院

2-P48-3　訪問診療における精神科医専門医の果たす役割

○中野 輝基
医療法人社団悠翔会在宅診療部診療部精神科

2-P48-4　周産期の不安・抑うつがボンディングに与える影響について

○橋尻 洸陽[1,2]、茂木 崇治[1]、福井 直樹[1]、坪谷 隆介[1]、須貝 拓朗[1]、江川 純[1]、三留 節子[3]、
荒木 理恵[3]、池 睦美[4]、生野 寿史[5]、山口 雅幸[5]、高桑 好一[6]、榎本 隆之[5]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟県立精神医療センター、[3]新潟大学医歯学総合病院看護部、
[4]新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、[5]新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、
[6]新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

2-P48-5　精神科訪問診療の可能性

○山田 治、五十嵐 薫、関 正寛、山田 理依、川﨑 智弘
医療法人崇徳会田宮病院

2-P48-6　妊産婦の発達特性が子へのボンディングに与える影響について

○坪谷 隆介[1]、茂木 崇治[1]、福井 直樹[1]、橋尻 洸陽[1]、須貝 拓朗[1]、江川 純[1]、三留 節子[2]、
荒木 理恵[2]、池 睦美[3]、生野 寿史[4]、山口 雅幸[4]、高桑 好一[5]、榎本 隆之[4]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟大学医歯学総合病院看護部、
[3]新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、[4]新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、
[5]新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

12:50～13:38 一般演題（ポスター）49
精神科救急

司会：**樋口 悠子**　富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座

2-P49-1　精神科救急症例における認知症疾患の増加と身体合併症が及ぼす転帰への影響：当センター 5 年間の検討

○六本木 知秀[1]、高橋 雄一[1]、野本 宗孝[1]、小田原 俊成[2]
[1]公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター、
[2]公立大学法人横浜市立大学保健管理センター

2-P49-2　妊産婦の精神科入院事例から考えられる臨床的課題について

○木村 文祥[1,2]、辻野 尚久[1,2]、田久保 陽司[1,2]、落 裕太[1,2]、齋藤 淳一[1,2]、池田 竜[1,2]、相川 祐里[1,2]、
山口 大樹[1]、片桐 直之[1]、根本 隆洋[1]、水野 雅文[1]
[1]東邦大学医学部精神神経医学講座、[2]済生会横浜市東部病院精神科

2-P49-3 **尿中薬物検査キット（MEDICAL STAT）でアンフェタミンが偽陽性を来したと考えられたグリホサート中毒の一例**

○工藤 瑞樹[1]、竹島 正浩[1]、吉沢 和久[2]、神林 崇[1]、三島 和夫[1]
[1]秋田大学医学部附属病院精神科、[2]市立大曲病院

2-P49-4 **当院における精神科救急病棟の現状と課題**

○熊田 智、川嶋 義章、豊岡 和彦、橋野 健一、新澤 秀範、鈴木 保穂、鈴木 好文、渋谷 太志
医療法人恵生会南浜病院精神科

2-P49-5 **厚生労働省自殺未遂者再企図防止事業：臨床現場におけるケース・マネージメント介入の実態**

○白石 将毅、石井 貴男、津山 雄亮、岩木 敦子、野呂 孝徳、成田 賢治、煤賀 隆宏、
田山 真矢、木川 昌康、河西 千秋
札幌医科大学附属病院

2-P49-6 **自殺報道と帝京大学附属病院救命救急センターでの自殺行動患者の受け入れとの関連についての検討**

○江村 康[1]、金田 渉[1]、松村 謙一[1]、赤羽 晃寿[1]、栃木 衛[1]、林 直樹[1]、池淵 恵美[1,2]
[1]帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科、[2]帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）50
ECT・ニューロモデュレーション２

司会：**小野 樹郎**　群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

2-P50-1 **撓骨遠位端骨折が修正型電気けいれん療法により生じた一例**

○森川 亮[1]、上馬塲 伸始[2]
[1]新潟大学医歯学総合病院精神科、[2]新潟県立新発田病院精神科

2-P50-2 **電気けいれん療法における使い捨て電極パッドの皮膚抵抗を下げるために使用する薬剤の介入研究**

○島野 朋也[1,2]、澤山 恵波[2]、夏山 卓[1,2]、大石 智[2]、齋藤 正範[2]、田中 克俊[1]、宮岡 等[2]
[1]北里大学大学院医療系研究科、[2]北里大学医学部精神科学

2-P50-3 **日本医科大学付属病院における継続・維持電気痙攣療法の現状について**

○坂寄 健、山本 憲、増岡 孝浩、朝山 健太郎、舘野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科

2-P50-4 **電気けいれん療法時のパルス幅変更による発作再誘発困難例への対応**

○朝山 健太郎、大矢 智之、鹿目 将至、坂寄 健、舘野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科

2-P50-5 **電気けいれん療法を精神科病棟で施行することについての調査**

○山本 憲、坂寄 健、朝山 健太郎、舘野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科

2-P50-6 **経頭蓋直流刺激による γ 帯域への効果の検討：無作為化二重盲検試験**

○宮岸 良彰[1]、池田 尊司[2]、高橋 哲也[3]、工藤 究[4]、森瀬 博史[4]、三邉 義雄[1,2]、菊知 充[2]
[1]金沢大学附属病院神経科精神科、[2]金沢大学子どものこころの発達研究センター、[3]福井大学保健管理センター、
[4]株式会社リコー研究開発本部リコー未来技術研究所

6月21日（金） ポスター会場6（ホテル 4F）［朱鷺ホワイエ］

12:50～13:38 一般演題（ポスター）51
気分障害 8

司会：**根本 隆洋** 東邦大学医学部精神神経医学講座

2-P51-1 **SSRI はコラーゲン受容体結合能を抑制することで血小板活性化を抑制する**

○杉田 尚子[1]、平方 秀男[2]、村井 俊哉[1]
[1]京都大学医学部附属病院精神科、[2]京都大学医学部附属病院初期診療救急科

2-P51-2 **電気けいれん療法（ECT）が奏功し卵巣腫瘍の手術可能となったうつ病の一例**

○高橋 賢人[1]、杉田 尚子[2]、村井 俊哉[2]、宮本 泰斗[3]、池田 愛紗美[4]
[1]大阪赤十字病院精神神経科、[2]京都大学医学部附属病院精神科神経科、[3]京都大学医学部付属病院産科婦人科、
[4]独立行政法人国立病院機構京都医療センター産科婦人科

2-P51-3 **うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激法の効果予測因子の検討**

○小出 蓉子、大久保 裕章、大井 一高、長澤 達也、上原 隆、川﨑 康弘
金沢医科大学精神神経科学

2-P51-4 **クエチアピン加療後に妊娠糖尿病を発症し、内科と併診しながら、内服を継続した双極性障害の一例**

○白石 匠[1]、愛川 可南子[2]、國武 裕[1]、安西 慶三[2]、門司 晃[1]
[1]佐賀大学医学部付属病院精神神経科、[2]佐賀大学医学部附属病院肝臓・糖尿病・内分泌内科

2-P51-5 **うつ病におけるアミロイド β タンパクが BDNF 濃度に与える影響**

○済田 貴生[1,2]、馬場 元[1,2]、前嶋 仁[1,2]、島野 嵩久[1,2]、夏目 俊太朗[1,2]、鈴木 利人[1,2]、新井 平伊[2]
[1]順天堂大学医学部付属順天堂越谷病院、[2]順天堂大学大学院医学研究科精神行動科学

2-P51-6 **担癌患者の自殺企図後、リエゾン介入により化学療法を継続し、寛解に至り自宅退院となった症例の検討**

○松尾 陽、大橋 綾子、磯村 周一、平野 昭吾、神庭 重信
九州大学病院精神科神経科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）52
認知症 5

司会：**渡辺 義文** 総合南東北病院精神神経センター

2-P52-1 **ADHD と診断されていた Alzheimer 型認知症の一例**

○山口 世堯、鳥居 洋太、臼井 敏晶、尾崎 紀夫
名古屋大学医学部附属病院精神科

2-P52-2 **アルツハイマー病における抑うつ症状の神経基盤に関する検討**

○吉川 裕晶[1]、北村 聡一郎[1,3]、松岡 究[1]、高橋 誠人[1]、本多 将人[1]、水井 亮[1]、南 昭宏[1]、森 侑花[1]、
金田 東奎[1]、宮坂 俊輝[2]、吉川 公彦[2]、岸本 年史[1]
[1]奈良県立医科大学精神科、[2]奈良県立医科大学放射線科、[3]量研機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部

2-P52-3 **有酸素運動が健常高齢者の脳血流にもたらす影響 –地域縦断コホート研究から**

○織内 直毅[1]、田村 昌士[2]、根本 清貴[2]、征矢 英昭[3]、朝田 隆[4]、新井 哲明[2]
[1]筑波大学附属病院、[2]筑波大学医学医療系精神医学、[3]筑波大学体育学系運動生化学・スポーツ神経科学、
[4]メモリークリニックお茶の水

2-P52-4 **レビー小体型認知症の早期症状の再考**

○宮崎 秀仁[1,2]、勝瀬 大海[1]、井出 恵子[1]、千葉 悠平[1]、青木 直哉[1]、野口 功一[1]、山口 博行[1]、西尾 友子[3]、山口 和己[4]、佐伯 隆史[4]、古川 良子[3]、小田原 俊成[5]
[1]横浜市立大学精神医学教室、[2]公益財団法人復康会沼津中央病院、[3]横浜市総合保健医療センター、[4]医療法人誠心会神奈川病院、[5]横浜市立大学保健管理センター

2-P52-5 **アルツハイマー型認知症患者における内側側頭部の萎縮と記憶機能低下の関連**

○栃木 衛[1]、押久保 岳[1]、赤羽 晃寿[1]、池淵 恵美[1,2]
[1]帝京大学医学部精神神経科、[2]帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

2-P52-6 **自傷行為について健忘を残す高齢男性の２例**

○伊奈川 愛菓、古野 毅彦、前川 恵、樋山 光教
国立病院機構東京医療センター精神科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）53
脳器質性症状性精神障害５

司会：**黒木 俊秀**　九州大学大学院人間環境学研究院

2-P53-1 **抗アレルギー薬投与を契機に体系的な妄想が出現・持続したパーキンソン病患者の一例**

○森 湧平、松本 純弥、刑部 有祐、堀越 翔、戸田 亘、浅野 太志、板垣 俊太郎、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座

2-P53-2 **セフェピムにより急性の精神・行動症状をきたした抗菌薬関連脳症の一例**

○穂積 宏俊[1]、三浦 至[1]、野崎 途也[1]、刑部 有祐[1]、高橋 信久[2]、菊田 敦[2]、矢部 博興[1]
[1]福島県立医科大学神経精神医学講座、[2]福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科

2-P53-3 **Lamotrigine が奏功した CNS ループスの１例**

○小嶋 亮平、國武 裕、溝口 義人、門司 晃
佐賀大学医学部附属病院

2-P53-4 **ハンチントン病における精神症状の神経病理学的背景**

○平野 光彬[1]、入谷 修司[1,2]、藤城 弘樹[1,2]、鳥居 洋太[1,2]、関口 裕孝[3]、羽渕 知可子[4]、合澤 祐[4]、三輪 綾子[5]、藤田 潔[3]、吉田 眞理[6]、尾崎 紀夫[1]
[1]名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、[2]AMED名古屋大学精神科ブレインバンクコンソーシアム、[3]桶狭間病院藤田こころケアセンター、[4]愛知県精神医療センター、[5]特定医療法人八誠会もりやま総合心療病院、[6]愛知医科大学加齢医科学研究所

2-P53-5 **新潟市民病院を受診した自殺企図者の臨床的特徴**

○新藤 雅延[1]、中野 達夫[2]、木村 望[3]、廣瀬 保夫[4]
[1]新潟市民病院精神科、[2]新潟市民病院看護部、[3]新潟市民病院地域医療室、[4]新潟市民病院救急科

2-P53-6 **総合病院精神科の有床化における課題**

○上村 秀樹
奈良県総合医療センター精神科・心療内科・こども心療科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）54
パーソナリティ・その他

司会：**井上 幸紀**　大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

2-P54-1 **成人の状態不安に対する小児期の両親の養育態度、対人関係敏感性、ライフイベントの相互作用の検討**

○岩尾 紅子[1,2]、市来 真彦[2]、桝屋 二郎[2,3]、井上 猛[2]
[1]厚生中央病院精神科、[2]東京医科大学病院精神医学分野、[3]東京医科大学茨城医療センター精神科

2-P54-2 **ビフィズス菌整腸剤の過量服薬を繰り返した境界性パーソナリティ障害の一例**

○松本 純弥、刑部 有祐、戸田 亘、泉 竜太、一瀬 瑞絵、森 湧平、板垣 俊太郎、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

2-P54-3 **摂食障害患者の死後脳を用いた神経病理的検討**

○梅田 健太郎[1,4]、河上 緒[1,2,3]、村端 祐樹[1]、新里 和弘[1]、大島 健一[1]、渡辺 亮平[2]、関口 裕孝[4]、羽渕 知可子[4]、鳥居 洋太[4]、池田 研二[2]、長谷川 成人[2]、村山 繁雄[3]、入谷 修司[4]、齋藤 正彦[1]
[1]東京都立松沢病院、[2]東京都医学総合研究所認知症プロジェクト、[3]東京都健康長寿医療センター、[4]名古屋大学医学部精神科

2-P54-4 **体組成計を用いた神経性やせ症に対する BCAA の効果の検討**

○吉原 喬[1,2]、横山 裕一[1]、渡邉 榮吉[2]、渡邉 晴香[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学医歯学総合病院精神科、[2]新潟医療福祉大学大学院健康科学専攻健康栄養学分野

2-P54-5 **一般成人において喫煙ならびに飲酒習慣と関連する精神医学的傾向の有無**

○中澤 広[1]、成瀬 麻夕[2]、井上 猛[2]
[1]東京医科大学大学院精神医学分野、[2]東京医科大学精神医学分野

2-P54-6 **防衛機能尺度の検証 –YGT との関連–**

○七里 佳代[1]、橘 輝[1]、染矢 俊幸[2]
[1]新潟大学保健管理センター、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

12:50～13:38 一般演題（ポスター）55
精神保健・医学教育

司会：**吉村 篤**　滋賀医科大学精神医学講座

2-P55-1 **発達障害のある医学生への支援：現状と課題**

○澁谷 雅子[1,4]、伊藤 正洋[1]、鈴木 利哉[1,2]、土田 正則[2]、能登 宏[3]、染矢 俊幸[2,4]
[1]新潟大学総合医学教育センター、[2]新潟大学医学部医学科学務委員会、[3]新潟大学特別修学サポートルーム、[4]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

2-P55-2 **東日本大震災における周産期の女性と地域母子保健ヘルスケア従事者の経験に関する質的研究**

○小林 奈津子[1]、菊地 紗耶[1]、本多 奈美[2]、富田 博秋[3]
[1]東北大学病院精神科、[2]東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、[3]東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

2-P55-3 **EGUIDE プロジェクト参加施設の大学病院は統合失調症の薬物治療において 1 年後の診療の質に変化があったのか**

○堀 輝[1]、安田 由華[2]、山本 智也[3]、稲田 健[4]、渡邊 衡一郎[5]、橋本 亮太[3,6]、吉村 玲児[1]
[1]産業医科大学精神医学教室、[2]生きる・育む・輝くメンタルクリニック、[3]大阪大学医学部附属病院神経科精神科、[4]東京女子医科大学病院、[5]杏林大学医学部付属病院、[6]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-P55-4 **精神科療養病床における長期入院患者の退院阻害因子の検討**

○福田 耕嗣、竹本 香織、小川 晴子
医療法人香流会紘仁病院精神科

2-P55-5 **専門医認定試験の症例報告に患者・家族同意が必須でなくてよいか？**

○小笠原 一能[1,2]、飯島 祥彦[1]、尾崎 紀夫[2,3]
[1]名古屋大学医学部附属病院医学研究・臨床倫理推進室、[2]名古屋大学医学部附属病院精神科、
[3]名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

2-P55-6 **インターネット動画を用いた精神医学の教育方法について**

○松﨑 朝樹
筑波大学附属病院精神神経科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）56
神経画像

司会：**須田 顕**　横浜市立大学医学部精神医学教室

2-P56-1 **精神病発症危険状態における脳回形成の偏倚：多施設共同研究**

○笹林 大樹[1]、高柳 陽一郎[1]、高橋 努[1]、小池 進介[2]、山末 英典[5]、片桐 直之[3]、佐久間 篤[4]、
小原 千佳[4]、中村 美保子[1]、古市 厚志[1]、木戸 幹雄[1]、西川 祐美子[1]、野口 京[6]、松本 和紀[4]、
水野 雅文[3]、笠井 清登[2]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、[2]東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、
[3]東邦大学医学部精神神経医学講座、[4]東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、
[5]浜松医科大学精神神経医学講座、[6]富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

2-P56-2 **第 1、第 2 世代の PET トレーサーを用いた、加齢性変化と認知症におけるミクログリア活性の検討**

○横倉 正倫[1]、寺田 達弘[2]、武内 智康[2]、中泉 享子[1]、加藤 康彦[1]、二ツ橋 昌実[3]、吉川 悦次[3]、
山末 英典[1]、尾内 康臣[2]
[1]浜松医科大学精神科、[2]浜松医科大学光尖端医学教育センター生体機能イメージング研究室、
[3]浜松ホトニクス株式会社

2-P56-3 **fMRI による健常成人女性における方向指示課題遂行中の脳活動について**

○井上 雅之[1,2]、森田 喜一郎[2,4]、佐藤 守[2,3]、山下 裕之[2,3]、小路 純央[2,3]、上野 雄文[2,5]、安陪 等思[6]、
内村 直尚[2,3]
[1]福間病院精神科、[2]久留米大学高次脳疾患研究所、[3]久留米大学病院精神神経科、[4]特定医療法人社団相和会中村病院、
[5]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、[6]久留米大学医学部放射線医学講座

2-P56-4 **摂食障害患者におけるミクログリア活性について：PET を用いた検討**

○横倉 正倫[1]、寺田 達弘[2]、武内 智康[2]、中泉 享子[1]、加藤 康彦[1]、二ツ橋 昌実[3]、吉川 悦次[3]、
山末 英典[1]、尾内 康臣[2]
[1]浜松医科大学精神科、[2]浜松医科大学光尖端医学教育センター生体機能イメージング研究室、
[3]浜松ホトニクス株式会社

2-P56-5 **カルバマゼピン中止後に一過性脳梁膨大部病変が出現した双極性障害の 1 例**

○髙須 庸平[1]、信田 慶太[3]、菊地 佑[4]、渡部 雄一郎[2]、染矢 俊幸[2]
[1]医療法人社団髙須クリニック髙須メンタルクリニック、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、
[3]医療法人恵愛会大島病院、[4]福島県立矢吹病院

2-P56-6 **統合失調症と気分障害における白質微細構造異常と認知機能障害との関係：DTI 研究**

○山田 信一[1]、高橋 隼[1]、石田 卓也[1]、大星 裕司[1]、辻 富基美[1]、篠崎 和弘[2]、寺田 正樹[3]、鵜飼 聡[1]
[1]和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室、[2]総合病院浅香山病院、[3]和歌山南放射線科クリニック

12:50〜13:38 一般演題（ポスター）57
神経生理・薬理学

司会：冨田 哲　　弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

2-P57-1　Fluvoxamine から paroxetine への置換における有用性の検討

○坪谷 隆介[1]、常山 暢人[1]、鈴木 雄太郎[1]、福井 直樹[1]、須貝 拓朗[1]、渡邉 純蔵[2]、小野 信[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟県厚生農業協同組合連合会中条第二病院精神科

2-P57-2　トラマドール/アセトアミノフェン配合剤（トラムセット R）で痙攣重積発作を呈した 1 症例

○塩田 勝利[1]、岡田 剛史[1]、小林 祐介[1,2]、須田 史朗[1]
[1]自治医科大学附属病院、[2]上都賀総合病院

2-P57-3　炭酸リチウムとクエチアピンの併用によりセロトニン症候群をきたした一例

○北元 健、横山 誠、吉永 陽子
医療法人社団碧水会長谷川病院

2-P57-4　ファイバーフォトメトリー法による自由行動マウスを用いたストレス誘発自律応答の脳内メカニズムの解析

○山下 哲、守谷 俊平、桑木 共之
鹿児島大学医歯学総合研究科

2-P57-5　第二世代抗精神病薬が日中および夜間の自律神経活動に与える影響

○渡邉 純蔵[1,2]、鈴木 雄太郎[1,3]、須貝 拓朗[1]、福井 直樹[1]、小野 信[1]、常山 暢人[1]、田尻 美寿々[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]医療法人社団敬成会白根緑ヶ丘病院、[3]医療法人敬愛会末広橋病院

2-P57-6　第二世代抗精神病薬が日中および夜間の心電図 QT 間隔に与える影響

○渡邉 純蔵[1,2]、鈴木 雄太郎[1,3]、須貝 拓朗[1]、福井 直樹[1]、小野 信[1]、常山 暢人[1]、田尻 美寿々[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]医療法人社団敬成会白根緑ヶ丘病院、[3]医療法人敬愛会末広橋病院

12:50〜13:38 一般演題（ポスター）58
神経心理・画像

司会：橋本 衛　　大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄付講座

2-P58-1　精神疾患患者サンプルにおける日本語版神経心理検査 RBANS の因子構造

○北村 秀明、高橋 聡子、長野 文枝、土屋 香織、後藤 公美子
医療法人水明会佐潟荘精神科

2-P58-2　ヒト手綱核の機能解析：嫌な出来事を避ける上でどう役立つか？

○吉野 敦雄[1]、岡田 剛[1]、岡本 泰昌[1]、山脇 成人[2]
[1]広島大学大学院精神神経科、[2]広島大学大学院社会産学連携室

2-P58-3　自閉症リスク遺伝子 Neuroligin3 の機能的リン酸化部位の機能解析

○江川 純[1]、五十嵐 道弘[2]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞機能学分野

2-P58-4 **MAPT intron 10 +14 変異を伴う FTDP-17 の一剖検例**

○渡辺 亮平[1,2]、河上 緒[1,3]、池内 健[4]、村山 繁雄[3]、秋山 治彦[1]、新井 哲明[2]、女屋 光基[5]、長谷川 成人[1]
[1]東京都医学総合研究所認知症プロジェクト、[2]筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、[3]東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク部門、[4]新潟大学脳研究所附属生命科学リソース研究センターバイオリソース研究部門遺伝子機能解析学分野・生命情報工学分野、[5]下総精神医療センター精神科

2-P58-5 **初回エピソード統合失調症患者における大脳皮質厚の変化と認知機能障害との関連**

○笹林 大樹[1]、高柳 陽一郎[1]、高橋 努[1]、西山 志満子[1]、古市 厚志[1]、木戸 幹雄[1]、西川 祐美子[1]、中村 美保子[1]、野口 京[2]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、[2]富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

2-P58-6 **認知症の行動・心理症状（BPSD）と脳血流の関連**

○関根 彩[1]、中山 顕次郎[2]、塚田 恵鯉子[3]、太田 深秀[3]、東 晋二[3]、根本 清貴[3]、新井 哲明[3]
[1]筑波大学附属病院精神神経科、[2]筑波大学附属病院、[3]筑波大学医学医療系精神医学

12:50～13:38 一般演題（ポスター）59
司法精神医学・その他

司会：**西岡 直也**　国立病院機構久里浜医療センター精神科

2-P59-1 **医療刑務所における覚せい剤による精神病性障害の患者の特徴**

○関口 陽介[1,2]、奥村 雄介[1]、岡田 幸之[2]
[1]東日本矯正医療センター、[2]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野

2-P59-2 **措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究（その 3）：措置入院時の精神症状・社会機能について**

○稲垣 中[1]、瀬戸 秀文[2,5]、島田 達洋[3]、大塚 達以[4]、岩永 英之[5]、中西 清晃[6]、中村 仁[2]、渡辺 純一[7]、横島 孝至[8]、奥野 栄太[9]、太田 順一郎[10]、吉住 昭[5]
[1]青山学院大学、[2]長崎県精神医療センター、[3]栃木県立岡本台病院、[4]宮城県立精神医療センター、[5]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、[6]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、[7]公益財団法人井之頭病院、[8]公益財団法人復康会沼津中央病院、[9]独立行政法人国立病院機構琉球病院、[10]岡山市こころの健康センター

2-P59-3 **措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究（その 4）：措置解除時までの精神症状の改善度について**

○稲垣 中[1]、瀬戸 秀文[2,5]、島田 達洋[3]、大塚 達以[4]、岩永 英之[5]、中西 清晃[6]、中村 仁[2]、渡辺 純一[7]、横島 孝至[8]、奥野 栄太[9]、太田 順一郎[10]、吉住 昭[5]
[1]青山学院大学、[2]長崎県精神医療センター、[3]栃木県立岡本台病院、[4]宮城県立精神医療センター、[5]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、[6]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、[7]公益財団法人井之頭病院、[8]公益財団法人復康会沼津中央病院、[9]独立行政法人国立病院機構琉球病院、[10]岡山市こころの健康センター

2-P59-4 **非行を発見した医療者が行う地域連携と守秘義務に関する法的研究**

○石川 博康
中通リハビリテーション病院精神科

2-P59-5 **経済的虐待を受けた精神科患者の保護に関する考察 –成年後見制度を利用した 3 症例の報告**

○青島 多津子
溝口病院

2-P59-6 **Risperidone 服用者における QT 間隔と CYP2D6 および ABCB1 遺伝子多型との関連**

○常山 暢人[1]、鈴木 雄太郎[1]、福井 直樹[1]、須貝 拓朗[1]、渡邉 純蔵[2]、小野 信[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]新潟厚生連中条第二病院

12:50〜13:38 一般演題（ポスター）60
その他 1

司会：**佐野 英孝**　白根緑ケ丘病院

2-P60-1　関節リウマチ患者における不安・抑うつと、その疼痛への影響

○中神 由香子[1]、杉原 玄一[1]、武井 教使[2]、藤井 隆夫[3]、橋本 求[4]、村上 孝作[3]、布留 守敏[4]、伊藤 宣[4,6]、宇多 雅[7]、鳥井 美江[7]、任 和子[7]、三森 経世[5]、村井 俊哉[1]
[1]京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）、[2]浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、[3]和歌山県立医科大学リウマチ・膠原病科学講座、[4]京都大学医学部附属病院リウマチセンター、[5]京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科、[6]京都大学医学部附属病院整形外科、[7]京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

2-P60-2　看護管理職における「職場の適応に困難さのあるスタッフ」の課題と対応の検討

○稲垣 卓司
島根大学教育学部初等教育開発講座（特別支援教育）

2-P60-3　裁判例における向精神薬の副作用と自殺の関連性

○西山 健治郎
二番町法律事務所

2-P60-4　バセドウ病による甲状腺クリーゼをパニック発作と誤診した 1 症例

○安田 学[1]、熊倉 隼[1]、岡 聖典[2]、福田 和仁[1]
[1]自治医科大学附属病院、[2]自治医科大学内科学講座内分泌代謝学部

2-P60-5　中学生における生活習慣事項とコルチゾールの関連について

○井上 顕[1]、藤田 委由[2]、竹下 治男[3]、橋岡 禎征[4]、嘉村 正徳[5]
[1]高知大学教育研究部医療学系保健管理センター、[2]島根大学医学部、[3]島根大学医学部法医学講座、[4]島根大学医学部精神医学講座、[5]嘉村医院

2-P60-6　精神科病院における緘瘡患者 –15 年間の集計から

○鈴木 好文、川嶋 義章、豊岡 和彦、橋野 健一、熊田 智、渋谷 太志
南浜病院